平成３０年度

全国学力・学習状況調査

指導の改善策

－ 学習習慣・生活習慣編 －

旭川市教育委員会

学習習慣・生活習慣編

1　課題の改善策　・・・・・　2

1　授業改善「主体的・対話的で深い学びの実現」
2　落ち着いた学習環境づくり①「９年間の学習環境づくり」
3　落ち着いた学習環境づくり②「将来の夢をもつためのキャリア形成」
4　望ましい習慣づくり①「学校紹介リーフレットを活用した習慣づくり」
5　望ましい習慣づくり②「健康・生活チェックシートを活用した習慣づくり」

2　児童生徒質問紙調査について　・・・・・　１４

1　分析について
（１）質問項目の分類の考え方
（２）分析結果の整理
（３）クロス集計

2　小学校の部　・・・・・　１５
（１）授業改善
①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
②学習に対する興味・関心や授業の理解度等（理科）
③学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数）
④地域や社会に関わる活動の状況等
（２）落ち着いた学習環境づくり
①規範意識，自己有用感等
（３）望ましい習慣づくり
①学習習慣等
②基本的生活習慣等

○分析結果
○改善策
○肯定的な回答が高い（低い）割合を示した質問項目
○肯定的な回答が全国の数値を上回った（下回った）質問項目
○肯定的な回答が増加（減少）傾向にある質問項目
○正答数が多い児童（Ｕ層）とそれ以外の児童（Ｅ層）とのクロス集計

3　中学校の部　・・・・・　３５
（１）授業改善
①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
②学習に対する興味・関心や授業の理解度等（理科）
③学習に対する興味・関心や授業の理解度等（数学）
④地域や社会に関わる活動の状況等
（２）落ち着いた学習環境づくり
①規範意識，自己有用感等
（３）望ましい習慣づくり
①学習習慣等
②基本的生活習慣等

○分析結果
○改善策
○肯定的な回答が高い（低い）割合を示した質問項目
○肯定的な回答が全国の数値を上回った（下回った）質問項目
○肯定的な回答が増加（減少）傾向にある質問項目
○正答数が多い生徒（Ｕ層）とそれ以外の生徒（Ｅ層）とのクロス集計

1　課題の改善策

課題の改善策１

授業改善

「主体的・対話的で深い学び」の実現

質問紙調査における児童生徒の回答状況等：主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

○「５年生まで（１，２年生のとき）に受けた授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいたと思いますか」の質問項目においては，肯定的な回答の割合が，小学校で７９．７％，中学校で７２．６％でした。小中ともにおおよそ高い割合を示しました。

○「５年生まで（１，２年生のとき）に受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」の質問項目においては，肯定的な回答の割合が，小学校で６２．３％，中学校で５０．５％でした。中学校は小学校に比べ，肯定的な回答が低い割合となりました。

主体的な学びとは

学ぶことに興味や関心を持ち，自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら，見通しを持って粘り強く取り組み，自己の学習活動を振り返って次につなげる学びのことです。その実現を図るため，具体的には次のような活動例が考えられます。

【例】

・学ぶことに興味や関心を持ち，毎時間，見通しを持って粘り強く取り組むとともに，自らの学習をまとめ振り返り，次の学習につなげる。

・「キャリア・パスポート（仮称）」などを活用し，自らの学習状況やキャリア形成を見通したり，振り返ったりする。

対話的な学びとは

子ども同士の協働，教職員や地域の人との対話，先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ，自己の考えを広げ深める学びのことです。その実現を図るため，具体的には次のような活動例が考えられます。

【例】

・実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり，実社会の人々の話を聞いたりすることで自らの考えを広める。

・あらかじめ個人で考えたことを，意見交換したり，議論したりすることで新たな考え方に気が付いたり，自分の考えをより妥当なものとしたりする。

・子ども同士の対話に加え，子どもと教員，子どもと地域の人，本を通して本の作者などとの対話を図る。

深い学びとは

習得・活用・探究という学びの過程の中で，各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら，知識を相互に関連付けてより深く理解したり，情報を精査して考えを形成したり，問題を見いだして解決策を考えたり，思いや考えを基に創造したりすることに向かう学びのことです。その実現をはかるため，具体的には次のような活動例が考えられます。

【例】

・事象の中から自ら問いを見いだし，課題の追究，課題の解決を行う探究の過程に取り組む。

・精査した情報を基に自分の考えを形成したり，目的や場面，状況等に応じて伝え合ったり，考えを伝え合うことを通して集団としての考えを形成したりしていく。

・感性を働かせて，思いや考えを基に，豊かに意味や価値を創造していく。

「主体的な学び」を実現する授業改善の視点

「課題はどう工夫したらいいのかしら？」
「何を見通しておくと，主体的に学べるのかしら？」
「振り返る時間が足りないのよね。」

「何を考えたらいいの？」
「どうしたらいいのかな？」

こんなこと，ありませんか？

1　課題設定の工夫を図る

○単元や１単位時間の課題を設定する際は，「何が分かるようになればよいのか」や，「何ができるようになればよいのか」を示すなど児童生徒のゴールの姿に結び付く課題や切実感のある課題を，意識して設定します。

〈例〉小学校第４学年算数「面積」
評価の観点：数量や図形についての知識・理解

△「教室の面積を求めよう」
○「教室の面積を表すのにふさわしい単位を考えよう」

〈例〉社会科
「～なのに，どうして～なんだろう？」と感じる資料の提示

学習することの必要感を感じさせられるように，導入部分では事象との出会いを工夫し，子どもの興味・関心を高めましょう。

2　見通しを持たせる

○各教科・領域の特性に応じ，学習の導入の場面で具体的な見通しを持たせることにより，子どもたちは主体的に粘り強く取り組むことができます。

学習の『ゴール』を見通す

〈国語科の例〉

友達に分かりやすく説明するためには，どうしたらよいかな。

根拠を引用できるようになればいいんじゃないかな。

学ぶ必然性をもたせましょう

学習の『方法』を見通す

〈算数科の例〉

値引きした後の値段は，どんな方法で求めることができるでしょう。

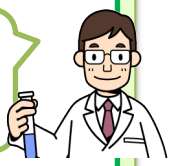
数直線を使うと立式できそうだぞ。

既習事項を活用させましょう

学習の『手順』を見通す

〈理科の例〉

８分間で実験をして，その結果から分かることをグループで話し合います。



最後に，自分で考察できればいいのね。

時間配分も伝えましょう

3　振り返りの充実を図る

○学習を通じて身に付いた力を実感させ，「分かった」「できた」という充実感・達成感を味わわせるとともに，「もっとやりたい」「活用したい」という意欲を喚起させることが大切です。

『時間の確保！』
学習終了前の，３～５分間に，「振り返り」の時間を位置付けましょう！

『書く！』
ノートやワークシートを活用して，自分の振り返りを記録化させましょう！

「分かったこと」や「できるようになったこと」を書きましょう。

書くことで，成長を確かめることができます。

【例】数学　中学校１学年
目標：反比例の意味や特徴を理解する。（知識・理解）
↓
振り返りの習熟問題
$y=\frac{9}{x}$ について，
①比例定数を答えよ。
②ｘの値が２倍，３倍，４倍…になると，対応するｙの値はどのように変わるか。

単元や本時の目標と正対して振り返らせることが大切です。

見通しを持ち，主体的に学ぶことができる授業改善を図りましょう。

「対話的な学び」を実現する授業改善の視点

「対話が深まらないな？」
「結局，何について話し合えたんだろう？」
「４人グループの方が良かったかな？」
「対話的って，どうしたらいいんだろう。」

「何を話したらいいのかな？」

こんなこと，ありませんか？

１　単元の指導計画に対話的な活動を位置付ける

〇どの場面でどのような目的で対話的な学びを進めるか，見通しを持って指導に当たるために，対話的な活動を単元の指導計画に位置付けることが有効です。

【対話を持つ場面】〈例〉
友達の考えの良さに気付かせるために，対話的な活動を位置付ける。

【学習形態の工夫】〈例〉
〇〇を目的とすることから，異なる考えを持ったグループを作ると効果的である。

２　対話の目的や論点を明らかにする

〇何のために，何を話し合うのか，対話する必然性のある課題を設定し，その目的や論点を明らかに示すことが大切です。

みんなはどう考えているのかしら？

解決するためには，〇〇について話し合うことが必要だね！

【目的の例】
- 多様な情報を収集するため
- 互いの考えを比較するため
- 共に考えを創り上げるため
- 協働して課題解決するため

【論点の例】
- 〇〇の魅力はどこか？
- 〇〇はなぜ△△か？

３　学習内容に応じ，対話する学習形態を工夫する

〇対話の目的に応じて，グループの人数や構成を工夫することが大切です。

- ペアで考えを交流する。
⇒気軽に意見が言えて，自己の考えを確かめ，自信を持つことができます。

- 同様の考えを持ったグループ
⇒同じ願い等を持った仲間で考えを練り合い，協働して課題解決することができます。

- 異なる考えを持ったグループ
⇒自分とは異なる考え方に気付き，思考を広げることができます。

〈子どもが取り組むイメージ例〉

４　学習内容に応じ，情報を伝え合うツールを工夫する

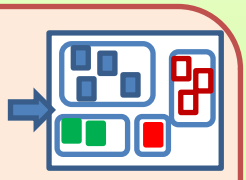
〇対話の目的に応じて，情報を伝え合うツール等を効果的に活用しましょう。

タブレットＰＣなど，ＩＣＴを活用することも効果的だね！

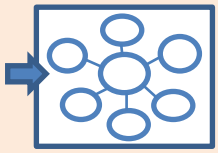
- 考えを説明するときに映像を映す。
- 班や教室の友達と情報を共有する。

思考ツールを使って，考えていることを図や表にして見える化したり，付箋等を使って整理したりすると，さらに思考が深まるね！

- たくさんのアイディアを比較したり収束したりして考えを交流するなら，KJ 法が使えます。



- 幅広い多様なアイディアを生み出したり，関連付けたりして思考を活性化するなら，イメージマップが効果的です。



対話的な学びによって，自己の考えを広げ深める授業改善を図りましょう。

「深い学び」を実現する授業改善の視点

「何をどう深めるとよいのだろう？」
「何をどこまでしたら深い学びになるのかしら？」
「子どもの姿はどうなればいいのかな？」

「どうなればいいのかな？」

こんなこと，ありませんか？

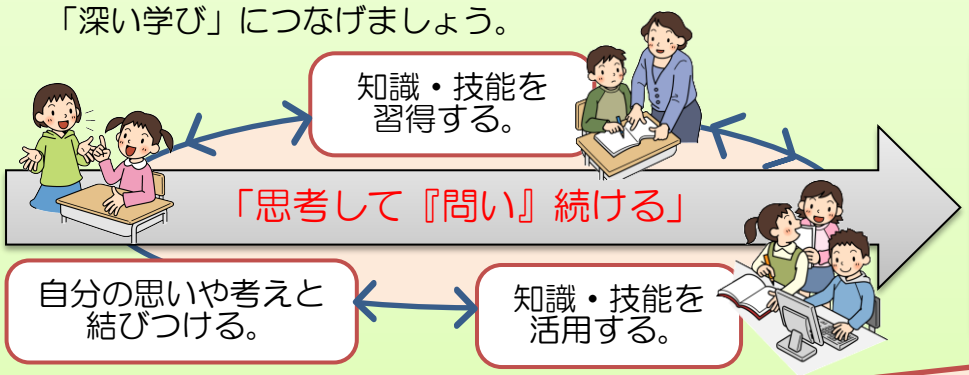
１　各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせて

〇各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら，知識を相互に関連付けてより深く理解したり，情報を精査して考えを形成したり，問題を見いだして解決策を考えたりするなど，思いや考えを基に創造することに向かう学習過程の充実を図りましょう。

「見方・考え方」を習得・活用・探究という学びの過程の中で働かせることを通じて，より質の高い学びにつなげることができます。

２　単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した，各教科等の本質的な学習プロセスを構想しよう！

〇「思考して『問い』続ける」ことを意識させ，「見方・考え方」を働かせて「深い学び」につなげましょう。



知識や技能を概念化する。

自分の考えを形成する。

新たなものを創り上げる。

共通点や相違点など観点を明確にして，自分と友達の考えを比較することで考えが深まる。

友達と一緒に学ぶ中で，自分の考えと友達の考えを合わせて，新しい考えが生まれる。

友達と互いの考えの根拠について比較・検討し，理解，納得したとき，考えが深まったと感じる。

〈「見方・考え方」を働かせて「深い学び」につながった子どものイメージ例〉

他者と共に「思考し『問い』続ける」ことにより，深い学びとなる授業改善を図りましょう。

コラム１

「主体的・対話的で深い学び」は，必ずしも１単位時間の授業の中ですべて実現されるとは限りません。

毎回の授業で全ての学びが実現されるものではなく，単元や題材など内容や時間のまとまりの中で，学習を見通し振り返る場面をどこに設定するか，児童生徒が考える場面と教員が教える場面をどのように組み立てるかを考え，実現を図っていくものです。

コラム２

「主体的・対話的で深い学び」の実現のためには，本市の「確かな学力の育成を図る指導のポイント」の一つである「落ち着いた学習環境づくり」が大切です。

対話的な学びを実現し，自己の考えを広げ深めるためには，相手に分かりやすく伝えるだけではなく，自分の考えと比較しながら聞き，うなずいたり，質問したりするなど最後まで相手の話を受け止めることが大切です。支持的風土の中で，互いに話を聞き合えるなど「落ち着いた学習環境づくり」が豊かな対話のポイントとなります。

課題の改善策２

落ち着いた学習環境づくり①

９年間の学習環境づくり

質問紙調査における児童生徒の回答状況等：規範意識，自己有用感等

○「学校のきまり（規則）を守っていますか」の質問項目においては，小中ともに肯定的な回答の割合が高い傾向を示しましたが，小学校では平成２９年度と比べると，肯定的な回答をした児童の割合は減少しました。

落ち着いた学習環境づくりを図るため，９年間を通して児童生徒と教師が共通の意識をもって，中学校区で学習規律を統一することが大切です。

「児童が進学する中学校の重点は何なのかな。」
「進学してくる入学生をスムーズに受け入れたい。」

こんなこと，
ありませんか？

中学校区における学習ルールのポイント

１　９年間で身に付けさせる

○中学校区で教師の押さえを明らかにし，児童生徒も保護者も安心して進級することができるよう，発達の段階に応じた学習ルールを作成しましょう。

広陵中校区の教職員の皆様

陵雲小・末広北小・広陵中　学習ルール

教師の押さえ

■学習に集中しよう！

■９年間で身に付けよう！

学習準備

□前の時間終了後すぐに，机上に教科書，ノート，筆記用具など授業に必要な物品を準備させます。

□トイレ等を済ませ，学習前着席を徹底させます。
※中学校は２分前着席です。

あいさつ

□学習の始めと終わりの挨拶を身に付けさせます。
・正しい姿勢
・適切な声の大きさの挨拶
※中学校では，着席したまま以下のように挨拶をします。
始　め：「気を付け。」「お願いします。」
終わり：「気を付け。」「ありがとうございました。」

話し方・聞き方

□丁寧な言葉遣いで話しかけます。
□丁寧な言葉遣いを身に付けさせます。
□話を聞くときは，うなずいたり，相づちを打ったりし，発言者に対してしっかり反応させます。
□思考力・判断力の向上につながるように言語活動を工夫します。
□小学校低学年では基本的な態度を身に付けさせます。
□中学校２，３年生では受験を意識した態度を身に付けさせます。

学習の進め方

□学習の「課題」「まとめ」を板書します。
□子供全員に伝わる分かりやすい指示や発問をします。
□本時の学習内容の定着を図る学習活動や問題を位置付けます。
□子供に考えさせる場面では，考えたことを書く機会を設け，書く時間を保証します。（宿題にはしない。）
□板書の内容を書き写すだけでなく，教師の説明や大切だと自分で考えたことはノートに積極的に記入させます。
□家庭学習の手引きを活用し，家庭学習（予習，復習）の励行を呼びかけます。

考え方

□小学校中学年では，自分と違う点を見付け，それを説明できるように考えさせます。
□小学校高学年・中学校１年生は，自分の考えと他の考えとを比べて，共通点や違いを考えながら取り組ませます。
□中学校２，３年生では，自分の考えと他の考えとを比べて，共通点や相違点を考えながら自分の考えを深めさせます。

しょうがっこう1・2ねんせい

■じゅんび
○まえのじかんがおわったら，きょうかしょやノートなどをつくえのうえにおきます。
○がくしゅうのまえにはじぶんのせきにすわります。

■あいさつ
○がくしゅうのはじめとおわりにピンとせすじをのばしてあいさつします。

■がくしゅうちゅう
○はつげんするときは，こえのおおきさをかんがえて，ていねいにはなします。
○はなしをきくときは，じぶんとにているぶぶんをさがしながら，うなずいたり，あいづちをうったり，はつげんしたひとにしっかりみみをかたむけます。
○こくばんにかかれたことを，ノートにていねいにかきます。
○まえをむき，ただしいしせいですわってべんきょうします。

■かてい
○しゅくだいやかていがくしゅうにまいにちとりくみます。

小学校3・4年生

■じゅんび
○前の時間終りょう後，教科書やノートなど，じゅぎょうにひつようなものをつくえの上におきます。
○学しゅうの前には自分のせきにちゃくせきします。

■あいさつ
○学しゅうのはじめとおわりにしっかりとしたしせいであいさつします。

■がくしゅう中
○はつ言するときは，声の大きさを考えて，ていねいに話します。
○話を聞くときは，自分とちがう点を見つけ，それをせつ明できるよう考えながら，うなずいたり，あいづちをうったり，はつ言した人にしっかり耳をかたむけます。
○ノートには「かだい」「学しゅう内よう」「まとめ」をていねいに書きます。
○話合いの場めんでは，自分の考えをもってとり組みます。

■かてい
○しゅくだいや家てい学しゅうに毎日とり組みます。

小学校5・6年生，中学校1年生

■準備
○前の時間終りょう後に，学習用具のじゅんびをしておきます。
○学習前（中学校はチャイム２分前）には着席し，静かに待ちます。

■あいさつ
○学習の始めと終わりにしっかりとしたしせいであいさつします。

■学習中
○発言・発表は挙手によって行い，声の大きさを考えて，ていねいに話します。
○話を聞くときは，発言した人にしっかり耳をかたむけます。
○ノートには「課題」「学習内よう」「まとめ」をていねいに書きます。
○先生の説明や大切だと思ったところはノートに記入します。
○話合いの場面では，自分の考えと他の考えとを比べて，共通点やちがいを考えながら取り組みます。

■家庭
○宿題や家庭学習にいよくてきに取り組み，ふくしゅうを大切にします。

中学校2・3年生

■準備
○前の時間終了後に，学習用具の準備をしておきます。
○チャイム２分前までには着席し，静かに待ちます。

■あいさつ
○学習の始めと終わりにしっかりとした姿勢であいさつします。

■学習中
○発言・発表は挙手によって行い，声の大きさを考えて，丁寧に話します。
○話を聞くときは，発言者にしっかり耳を傾けます。
○ノートには「課題」「学習内容」「まとめ」を必ず書き，しっかりまとめます。
○先生の説明や大切だと思ったところはノートに記入します。
○自分の進路を意識して，全ての学習に真剣に取り組みます。
○話合いの場面では，自分の考えと他の考えとを比べて，共通点や相違点を考えながら自分の考えを深めます。

■家庭
○宿題や予習・復習に意欲的に取り組むとともに，進路を意識し，計画的に家庭学習に取り組みます。

小学校・中学校それぞれの教師が互いのルールを理解することで，９年間統一した指導をすることができます。

特に，小学校５・６年生と中学校１年生の内容を統一することで，中１ギャップを解消し，スムーズに中学校生活を過ごすことが期待できます。

２　小学校５・６年生から中学校１年生まで統一した学習ルールにする

○小学校５・６年生の担任は，中学校進学をイメージした指導ができるよう，小学校５・６年生から中学校１年生までを発達の段階の一つのまとまりとして学習ルールを作成しましょう。

神居小・台場小・富沢小５・６年生

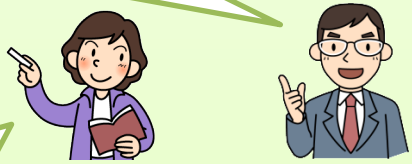
神居地区小中共通 ⇔ **神居中１年生**

学習ルール

- ○チャイムの前には着席し，次の授業の準備をして待つ
- ○名前を呼ばれたら，しっかりとした声で返事をする
- ○話し手の目を見て，自分の考えと比べながら聞く
- ○友達の意見に反応する

- ○「です」「ます」をつけ，最後まではっきりと大きな声で話す
- ○「課題」「学習内容」「まとめ」をノートに書く

ルールが分かりやすく提示されることで，児童生徒と教師が共通の認識をもちやすくなります。



小学校５・６年生と中学校１年生のつながりの大切さを意識した学習ルールの例です。

中学校の先生が小学校で授業をしたり，入学前に中学生が小学生に中学校生活について説明したりすることも，学習ルールを確認する貴重な場になります。

コラム

「相互理解」につなげる

小学校と中学校の学習ルールの内容を交流し合うことで，互いの共通点や相違点が明確になり，指導を行う上での相互理解につながります。

「安心感」を生む

児童生徒にとっては，９年間同じルールで学習していくことで安心感が生まれ，落ち着いた学習環境づくりにつながります。

「課題の明確化」を図る

統一した学習ルールについて，意識して取組ができているかどうかを児童生徒や保護者にアンケートなどで確認することで，学校の課題が明確になります。また，明確になった課題を中学校区で交流することで，校区内の課題が明確になります。

「地域と共に」育てる

課題を保護者や地域に発信することで，地域と共に児童生徒を育てていく意識を高めることが期待できます。

課題の改善策３

落ち着いた学習環境づくり②

将来の夢をもつためのキャリア形成

質問紙調査における児童生徒の回答状況等： 規範意識，自己有用感等

○「将来の夢をもっている」の質問項目においては、小中ともに肯定的な回答の割合が増加傾向です。どの子にも夢や目標をもたせるために，肯定的な回答の割合をさらに増やしていきたいところです。また，地域との関わりに関する一連の質問項目については，肯定的な回答の割合が高くない結果となっています。地域のよさを生かす教育活動の充実が必要であると考えられます。

カリキュラム・マネジメントの発想を生かし，教育課程の横断的な編成により，各教科や領域との関連を図りながら，児童生徒一人一人のキャリア形成を促していく取組を行っていくことが必要です。

そのために，特別活動や総合的な学習の時間，道徳，社会科や生活科など各教科での校外学習との関連を図ります。

そして，地域と連携し，小・中学校のつながりを意識しながら９年間を通して体験活動の充実させていけるような教育課程を編成します。

「自分の良さや可能性に気付かせたい！」
「将来の夢や希望をもってほしい。」
「旭川への愛着を持たせるには？」

こんなこと，
ありませんか？

各教科・領域のカリキュラム関連配列表

「児童生徒にどのような力が付いたか」という学びの成果を捉えた上で，指導の改善・充実を図ります。

単元や題材などの内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して，学習の過程や成果を評価し，学習意欲の向上を図ります。

コラム

「関連を視覚化する」

児童生徒一人一人のキャリア形成を促していくためには，児童生徒や学校，地域の実態を適切に把握し，各教科・領域等を横断的な視点で関連を図ることが大切です。

中学校においては，基本的に学級担任が，道徳・特別活動・総合的な学習の時間の指導を行うため，学習活動や体験活動の関連を図った指導計画を立てることができます。

	4月	5月	6月	7月	8月
行事等	入学式 家庭訪問	運動会	宿泊研修	終業式	始業式
総合	オリエンテーション	◎わが町　「旭川」			
特別活動	・最高学年としての自覚を持とう ・学級目標を決めよう ・前期学級役員や委員会を決めよう	・係活動や当番活動を決めよう ・運動会を成功させよう ・運動会を振り返ろう	・男女の役割の違い ・家庭学習の見直しをしよう	・修学旅行の計画を立てよう① ・修学旅行の計画を立てよう② ・夏休みの計画を立てよう	・２学期の目標を立てよう ・修学旅行の計画を立てよう③ ・相手の立場になって
道徳	・ほこりある生き方 ・せいいっぱい生きる	・自由と責任 ・長所と短所 ・男女ともしんらいして	・学校を愛する心 ・よりよいきまり ・伝統の心づかい	・ほこりある郷土 ・思いやりの心 ・感謝の心	・たいせつな生活リズム ・自由の難しさ

総合的な学習の時間「職場体験～将来のぼく・私の夢～」

○総合的な学習の時間は，「探究的な見方・考え方を働かせ，横断的・総合的な学習を行うことを通して，よりよく課題を解決し，自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成すること」を目指しています。

内容	「働くことには何のため？」	「いろいろな働く人に会ってみよう」	「将来の仕事について考えよう」
	働くイメージを交流する。	様々な働く人に出会う。	どのように生かすかを考える。
活動	□イメージマップ作り □職業人のＤＶＤ視聴 □インタビュー調査 □働く人のお話，質問	□近くにいる働く人との交流 □職場見学，体験学習 □インタビュー調査 □新聞・プレゼン作り，発表	□自分の仕事像マップ作り □インターネットや書籍での調査 □作文，プレゼン作り・発表

各学校では，児童生徒の興味・関心に基づく探究課題として，「実社会で働く人々の姿と自己の将来」を設定し，キャリア形成に結び付ける実践を行っている学校もあります。

学級活動（３）「なりたい自分～将来への見通しをもとう～」

○特別活動は，「集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせて，様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み，互いに良さや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を改善（直面する課題を解決）することを通して，資質・能力を育成すること」を目指しています。

題材　「家庭学習の見直しをしよう」（主体的な学習態度の形成）

事前　「家庭学習アンケート」の実施　将来の夢イメージマップの作成

本時　アンケート結果をもとに，家庭学習の課題を把握
将来の夢と学習のつながりのイメージマップを作成
自分のめあての決定，発表

事後　目標の学級掲示　ワークシートでの振り返り

特別活動は，学校教育全体で行うキャリア教育の中核的な役割を果たすことが明示されました。

特別の教科　道徳「自己の生き方について考える」

○道徳科は，「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため，道徳的諸価値についての理解を基に，自己を見つめ，物事を多面的・多角的に考え，自己の生き方についての考えを深める学習を通して，道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てること」を目指しています。なお，学校教育全体を通じて行う道徳教育の要として，各教科・領域等における道徳教育と密接な関連を図ることが求められます。

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
修学旅行　遠足	学習発表会	個人懇談	終業式	始業式		卒業式　修了式
◎将来の私に向けて（総合）						
・係活動を見直そう ・後期学級役員や委員会を決めよう	・学習発表会を成功させよう ・学習発表会を振り返ろう	・異学年との集会活動の計画を立てよう ・異学年と集会をしよう ・中学校に向けた学習の仕方を考えよう	・学級集会の計画を立てよう ・学級集会をしよう ・冬休みの計画を立てよう	・２学期を反省して３学期の目標を立てよう ・小学校生活を振り返って	・感謝の気持ちを表そう ・将来の夢	・よう
・明るく生きる ・働くことの意義 ・家族の幸せ ・ほんとうの友達	・集団の一員として ・真理を求める心 ・持続可能な社会	・社会正義の実現 ・理解し合うたいせつさ ・自分を守る力 ・美しい心	・その国のほこりと伝統 ・他国との心のつながり ・生命のつながり	・終わりなきちょうせん ・広く受け入れる心	・いじめをたち切る正義 ・れいぎ正しさ ・たいせつな義務	・公共の[illegible] ・深[illegible] ・夢[illegible]

学活

道徳

課題の改善策４

望ましい習慣づくり①

学校紹介リーフレットを活用した習慣づくり

質問紙調査における児童生徒の回答状況等：学習習慣等，基本的生活習慣等

○学習習慣では，「学校の授業時間以外に，普段，１日当たりどのくらいの時間，勉強をしますか。」という質問項目において，全体的な平均時間が小中ともに全国平均を下回りました。

○生活習慣では，「朝食を毎日食べていますか。」という質問項目において，肯定的な回答の割合が小中ともに全国の数値を下回りました。また，「放課後／週末に何をして過ごすことが多いですか。」という質問項目においては，「家でテレビやビデオ・ＤＶＤを見たり，ゲームをしたり，インターネットをしたりしている。」と答えた児童生徒の割合が，小中ともに全国の数値を上回りました。

子どもの学習習慣や生活習慣の定着と向上に向けて，『学校紹介リーフレット』を活用しましょう。学校のきまりや約束を用紙一枚に整理し視覚化し，保護者や地域へ情報発信することにより，家庭や地域，中学校区における効果的な連携を図ることができます。

「学校から保護者へ発信する情報量が年々多くなっているのかもしれない。」
「もっと分かりやすく伝える方法はないかな」

こんなこと，
ありませんか？

小学校の作成例

平成３０年度 保存版
◆教育目標
「夢を持ってがんばる子ども」

よくわかる！ 永山西小学校

〒079-8417 旭川市永山7条11丁目
TEL (0166)48-1042 FAX (0166)48-1062
お子さんについて御心配なことがありましたら，お気軽に御相談ください。

登校・下校 | 欠席・遅刻・早退・見学 | 帰宅時刻と交通ルール

生活

服装・持ち物

学習用具 | 使用するノートの規格 | 宿題と家庭学習

学習

朝活動（月・水・金）

３０年度 主な行事予定（２学期～） | 緊急時の連絡体制 | 校外での約束

その他

ご遠慮ください

永山西小学校 日課表

使用する学習用具やノートの規格，家庭学習の時間など，学習習慣を身に付けるためのきまりが分かります。

毎日の日課を，分かりやすく伝えています。学校への電話や送り迎え，物を届けるなど，日課も家庭と学校をつなぐ１つの窓口となります。

家庭での生活において徹底したい内容を，整理して記載することで保護者への啓蒙を図ります。他のきまりと一覧になっているため，年間を通じて意識付けすることができます。

指導内容を比較したり統一したりすることで，小中連携のツールとしても活用できます。

中学校の作成例

本年度の学校経営の重点や全国学力・学習状況調査等の結果・分析をもとに，目指す生徒像や学習面での課題等を伝えています。

提出物の期限を守ることや，登下校時の自転車の乗り方，ＳＮＳの使い方など，課題や重点的に指導していることについて伝えています。

規則正しい生活と，家庭学習の習慣化を推奨しています。

生徒が，主体的計画的に学習に取り組むことできるよう，メディア接触時間の注意，年間を通したテストの日程，生徒の学習を支援する学校の取組を一覧にして掲載しています。

コラム

★作成にあたってのポイント

①学習習慣，生活習慣の向上を図るために

- 学校としての目標，願いを明確にする。
- 学校評価や全国学力・学習状況調査の結果などから，成果や課題を明確にする。
- 校内で統一して指導したり，家庭との連携を強めたりする内容を整理する。

②家庭や地域との連携を強めるツールとして

- 時間，持ち物，緊急時の対応など，いざという時に知りたい情報を示す。
- 家庭や地域に学校の取組を情報発信し，教育活動への理解を深めてもらうよう工夫する。

本シート内の「学校紹介リーフレット（小学校例，中学校例）」は，
旭川市ＨＰ→平成３０年度全国学力・学習状況調査→旭川市学力向上学習プリント集からダウンロードできます。

課題の改善策５

望ましい習慣づくり②

健康・生活チェックシートを活用した習慣づくり

質問紙調査における児童生徒の回答状況等：学習習慣等，基本的生活習慣等

○「家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか。」の質問項目においては，肯定的な回答の割合が小学校では，７２．７％，中学校では５２．２％です。確かな学力を育成するためにも，望ましい生活習慣を身に付ける必要があります。

「健康・生活チェックシート」を活用し，自分の生活習慣について，課題を確認して見直しを図ります。課題が明確になることにより，学校でできる手立てや取組を工夫したり，家庭に学級通信や参観日などで協力をお願いしたりするなどして学校と家庭の両面から支援することができます。

「忘れ物や寝不足の子が多いなあ。」
「放課後は，ゲームばかりやっているようだ。」
「自分の生活を自分で見直せないものか。」

こんなこと，
ありませんか？

健康・生活チェックシートとは

けんこう せいかつ チェック シート！

ていがくねんよう

年　組　番　名前

○あてはまる 点を 右のマスに 書きましょう。

調べた週 平成 年 月 日（ ）～ 平成 年 月 日（ ）

番号	チェックすること	評価 3点	評価 2点	評価 1点	日（月）	日（火）	日（水）	日（木）	日（金）	日（土）	日（日）
(1)	何時に起きましたか？	6時30分までに起きた	7時までに起きた	7時よりあとに起きた							
(2)	朝ごはんを食べましたか？ ①ごはん，パンなど ②肉，魚，卵などのおかず，牛乳・乳製品 ③野菜のおかず，果物など	バランスよく食べた〔①②③をすべて食べた〕	食べた〔①②③の中で食べなかったものがある〕	食べなかった							
(3)	学校にもっていくものを，確かめましたか？	確かめて忘れ物がなかった	確かめたけれど忘れ物があった	確かめをしなかった							
(4)	たくさん遊んだり運動したりしましたか？	たくさん体を動かした	まあまあ動かした	あまり動かしていない							
(5)	家で，勉強をしましたか？	20分より多い	10分～20分	10分より少ない							
(6)	家で，読書をしましたか？	20分より多い	10分～20分	10分より少ない							
(7)	おうちの人と お話ししましたか？	10分より多く話した	10～5分くらい話した	話したのは5分よりも少ない							
(8)	食事中は テレビを消しましたか？	消した		つけていた							
(9)	テレビを見たり，ゲームをしたりした時間はどれぐらいですか？	1時間より少ない	1～2時間	2時間より多い							
(10)	何時ごろ寝ましたか？	9時までに寝た	9時30分までに寝た	9時30分より後に寝た							
	毎日25点くらいを目指しましょう。			合計点							

175～210点 とても健康的な生活です！

140～174点 ほぼ健康的な生活です。

139点以下 点数の低いところに気を付けて生活しよう

資料は，HP からエクセルのデータでダウンロードできるので，学校の実態に応じて質問項目を変更できます。目標とする点数なども自校で工夫できます。

おうちの人からお子さん へ

気づいたことや これから気をつけたいことを かきましょう。

「毎日，25 点くらいを目指しましょう。」など，毎日の目標を示すことによって，翌日の生活習慣の改善を促します。

Ｓｔｅｐ１　自校の実態把握

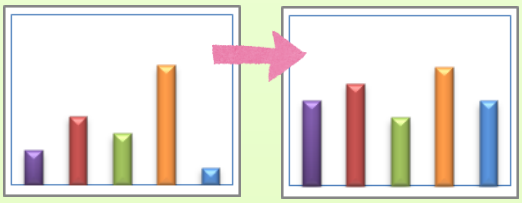
全校一斉に実施 → 係が集計 → 自校の傾向を把握 → 課題を保護者とも共有
・改善点を学校だより，学年・学級通信，懇談などで保護者にお知らせし，生活習慣の改善を図る。

○児童生徒の生活習慣の傾向を把握する。自校の良さや課題を知ることで，指導のポイントを押さえます。参観日の保護者懇談会の資料の一つとして活用し，チェックシートの有用性を保護者と共有することも考えられます。

Ｓｔｅｐ２　改善の見取り

年度の始めに実施 → 実態の把握，生活習慣の改善について指導
→ 再度実施 → 生活習慣の改善を確認
・実態を把握することで，生活習慣の見直しを意識させる。
・生活リズムの改善と連動して学力の向上を図る。

○チェックシートを活用し，定着した同一年度に複数回の実施を試みることでより効果が上がります。データをグラフで示し，結果を比較することで生活習慣の改善を「視覚化」し，児童生徒や家庭と共有することも有効です。

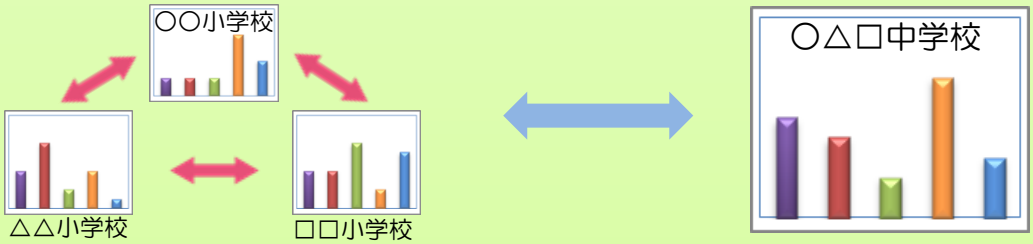


４月実施　　１０月実施

Ｓｔｅｐ３　小中連携の一環としての取組

中学校区全体での実施 → 小学校ごとの傾向を分析 → 各校の実態を比較
・複数の小学校で同時に実施することで，各校の傾向を把握する。
・共通課題を見いだし，中学校への進学に備える。

○中学校区内の各小・中学校では，特に小学校卒業から中学校へ進学する際の中１ギャップを軽減することを目的に実施することが大切です。小学校では，共通の課題を見いだすこととなり，中学校では入学してくる生徒の実態を把握した上で迎えるなど，小学生と中学生との違いを検証することで，相互に指導のポイントを共有することができます。



コラム

「生徒指導の視点を意識した取組」
　学期の始めにチェックシートを活用し生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯等）の見直しを図ります。整った生活リズムで過ごすことは，精神的に安定した状態で学校生活を送ることにつながります。その結果，いじめの未然防止，非行防止等の効果が期待できます。

本シート内の「健康・生活チェックシート（小学校低学年用，中・高学年用，中学生用）」は，
旭川市ＨＰ→平成３０年度全国学力・学習状況調査→旭川市学力向上学習プリント集からダウンロードできます。

2　児童生徒質問紙調査について

1　分析について

（1）質問項目の分類の考え方

児童生徒に対する質問紙調査の全質問項目（小学校６２，中学校５９）について，国立教育政策研究所の報告書では，質問項目を８つに分類していますが，この国立教育政策研究所の分類と本市の確かな学力育成プランの３つのカテゴリー（「授業改善」「落ち着いた学習環境づくり」「望ましい習慣づくり」）との関連付けを図り，下の表のとおりに整理しました。

カテゴリー	国立教育政策研究所の分類	質問番号	
１　授業改善	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	小	５５～５７（3問）
		中	５２～５４（3問）
	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（理科）	小	３８～５４（１７問）
		中	３８～５１（１４問）
	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）	小	２７～３７（１１問）
		中	２７～３７（１１問）
	地域や社会に関わる活動の状況等	小	１９～２６（8問）
		中	１９～２６（8問）
	各教科の調査時間の適切性	小	５８～６２（5問）
		中	５５～５９（5問）
２　落ち着いた学習環境づくり	規範意識，自己有用感等	小	１～６（6問）
		中	１～６（6問）
３　望ましい習慣づくり	学習習慣等	小	１０～１５（6問）
		中	１０～１５（6問）
	基本的生活習慣等	小	７～９，１６～１８（6問）
		中	７～９，１６～１８（6問）

（2）分析結果の整理

質問項目に「している」「どちらかといえばしている」など，肯定的な回答をした児童生徒の割合が８０％以上のものを「肯定的な回答が高い割合を示した質問事項」とし，肯定的な回答が６０％未満のものを「肯定的な回答が低い割合を示した質問事項」として整理しました。

（3）クロス集計

教科に関する調査結果における正答率の高い児童生徒（U層）とそれ以外の児童生徒（E層）の質問紙調査の回答状況を比較し，各教科の正答率と学習状況・生活習慣との相関関係を分析しました。

２　小学校の部

（１）「授業改善」について

①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

分析結果

【質問番号】５５～５７（3問）

○３質問項目中，「５７　学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか」の１項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方，肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。

○３質問項目中，全ての項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。

○３年間の経年比較では，「５７　学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか」の１項目において，肯定的な回答が増加傾向にあり，肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。

○「課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいる」，「自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表している」，「学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができている」児童は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。

○各小学校において，主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が校内研修等を通じて，着実に進められている状況であると分析しました。

改 善 策

○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する上で，児童の学習状況等に着目し，学習指導の改善・充実を図る観点から，学校全体で組織的・継続的な取組を進めることが大切です。

○児童が，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいくことができるよう，見通しを立てたり，自己の学習活動を振り返ったりすることで，児童が主体的に取り組めるように指導することが大切です。

○児童が，学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができるよう，対話の目的や論点を明確にしたり，情報を伝え合うツールを活用したりすることで，児童の思考と表現をサポートすることが大切です。

○児童が，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫することで，発表していた相手に伝わったということを児童が実感できるように指導することが大切です。

本改善策については，Ｐ２
「『主体的・対話的で深い学び』の実現」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

５７　学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか（80.8%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

５５　５年生までに受けた授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいたと思いますか（2.5）

５６　５年生までに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか（1.3）

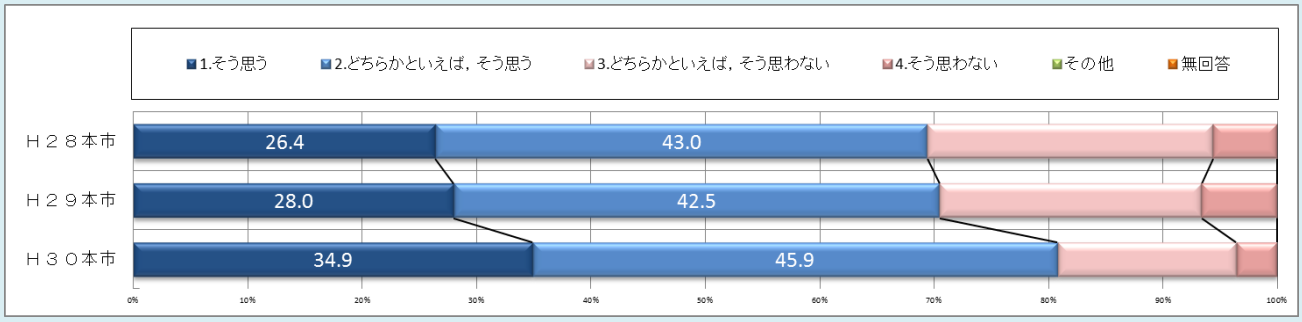
５７　学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか（3.1）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

５７　学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか



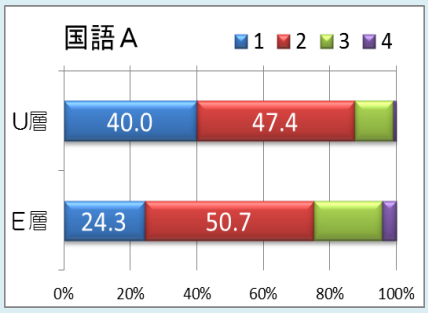
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

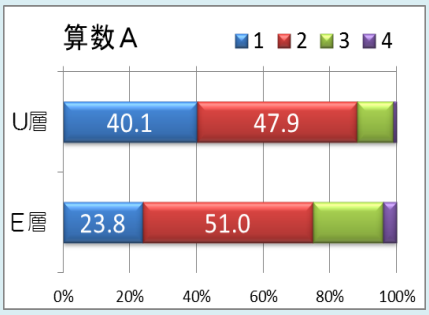
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

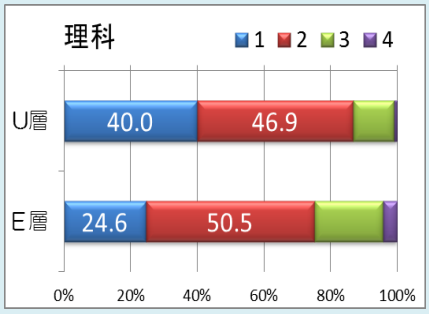
正答数が多い児童（Ｕ層）とそれ以外の児童（Ｅ層）とのクロス集計

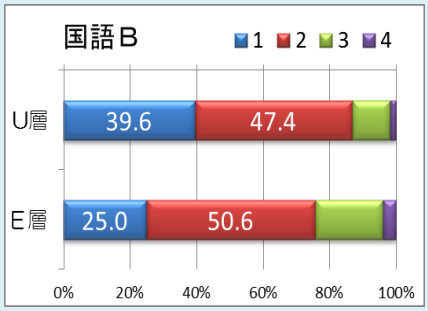
５５　５年生までに受けた授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいたと思いますか

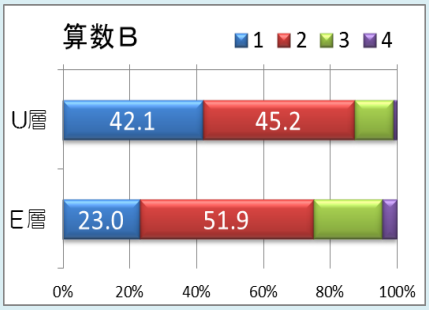
１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない





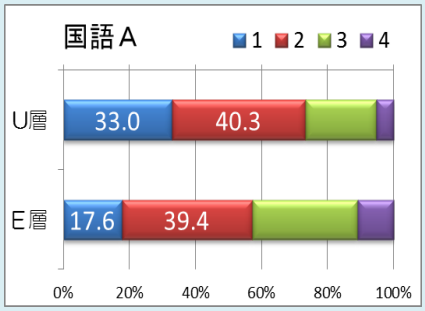


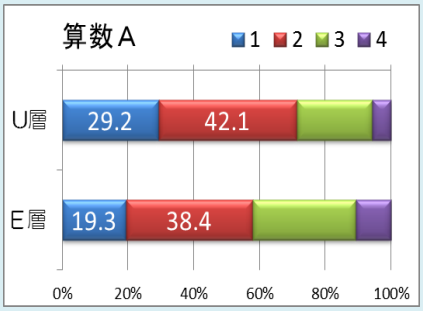


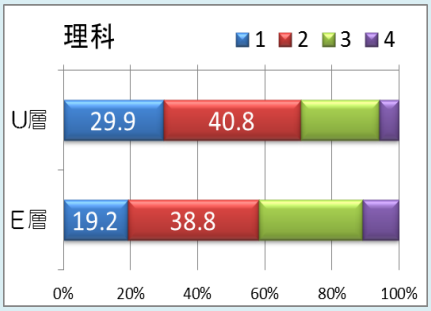


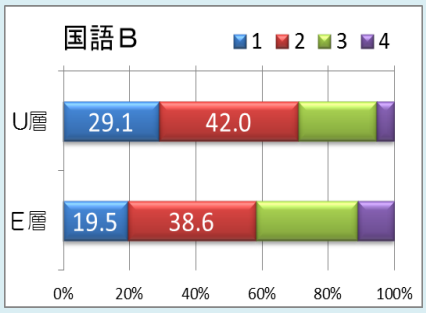
５６　５年生までに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか

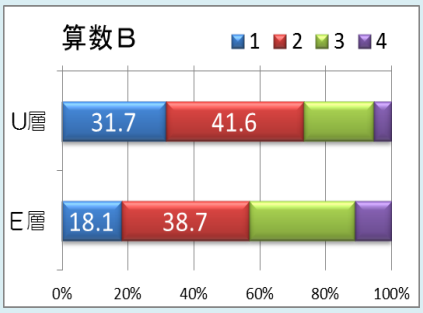
１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない





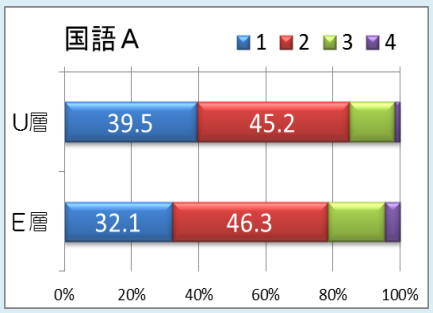


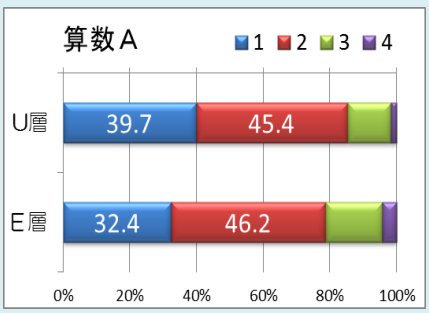


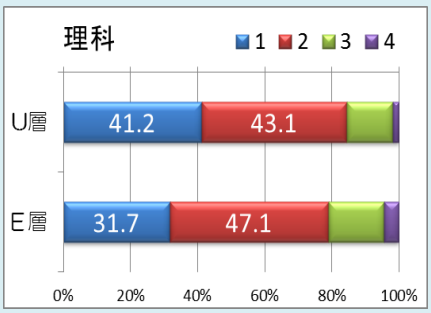


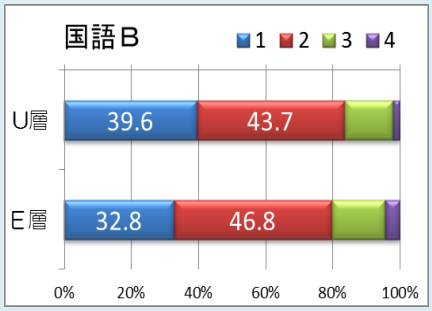
５７　学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか

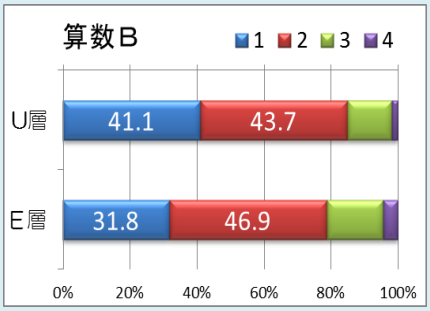
１　そう思う	２　どちらかといえば，そう思う
３　どちらかといえば，そう思わない	４　そう思わない











②学習に対する興味・関心や授業の理解度等（理科）

【質問番号】３８～５４（１７問）

分析結果

○１７質問項目中，１０項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方，「４５　理科の授業で，自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか」などの２項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。

○１７質問項目中，１３項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「４２　理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」などの４項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○本市では，理科に関する興味・関心，授業の理解度等についての質問に，肯定的に回答した児童の割合が高い傾向にあり，望ましい状況であると分析しました。

改 善 策

○児童が，自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりできるよう，予想や仮説を発想して自分の考えを明確にするために，図などに表現させることで，一人一人が考えをもって話し合う場合を設定することが大切です。

○児童が，観察や実験の結果から，どのようなことが分かったのか考えられるよう，考察においては，実験結果の事実とその解釈の両方を表現させることで，より的確な説明になることを児童が捉えられるように指導することが大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

３８　理科の勉強は好きですか（87.6%）
３９　理科の勉強は大切だと思いますか（86.4%）
４０　理科の授業の内容はよく分かりますか（92.2%）
４１　自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか（85.9%）
４６　理科の授業では，理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか（88.7%）
４７　観察や実験を行うことは好きですか（91.9%）
４９　理科の授業で，観察や実験の結果から，どのようなことが分かったのか考えていますか（84.7%）
５１　今回の理科の問題について，解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について，どのように解答しましたか（80.4%）
５２　５年生のとき，理科の授業がおもしろいと思いましたか（90.8%）
５４　今，社会のことがらや自然のことがらに，「不思議だな」「おもしろいな」などと思いますか（83.6%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

４４　将来，理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか（24.5%）
４５　理科の授業で，自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか（58.2%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

３８　理科の勉強は好きですか（4.1）
３９　理科の勉強は大切だと思いますか（1.0）
４０　理科の授業の内容はよく分かりますか（2.8）
４３　理科の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか（1.5）
４５　理科の授業で，自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか（3.7）
４７　観察や実験を行うことは好きですか（2.1）
４８　理科の授業では，自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか（4.7）
４９　理科の授業で，観察や実験の結果から，どのようなことが分かったのか考えていますか（2.9）
５０　理科の授業で，観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか（2.5）
５１　今回の理科の問題について，解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について，どのように解答しましたか（3.1）
５２　５年生のとき，理科の授業がおもしろいと思いましたか（3.3）
５３　５年生のとき，理科の授業を受けた後に，習ったことに関わることで，もっと知りたいことがでてきましたか（2.5）
５４　今，社会のことがらや自然のことがらに，「不思議だな」「おもしろいな」などと思いますか（1.6）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

４１　自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか（▲1.1）
４２　理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか（▲1.5）
４４　将来，理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか（▲1.6）
４６　理科の授業では，理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか（▲0.4）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

③学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数）

【質問番号】２７～３７（１１問）

分析結果

○１１質問項目中，「２８　算数の勉強は大切だと思いますか」，「３３　算数の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか」などの５項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。

○１１質問項目中，６項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「３７　今回の算数の問題について，言葉や数，式を使って，わけや求め方などを書く問題がありましたが，どのように解答しましたか」などの５項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○３年間の経年比較では，「３６　算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」の１項目において，肯定的な回答が増加傾向を示しました。一方，「３０　算数の授業で新しい問題に出合ったとき，それを解いてみたいと思いますか」などの３項目において肯定的な回答が減少傾向を示しました。

○本市では，算数に関する興味・関心，授業の理解度等についての質問に，肯定的に回答した児童の割合は，平成２８年度，平成２９年度とほぼ同様の傾向にあり，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改 善 策

○児童が，新しい問題に出合ったとき，それを解いてみたいと思えるよう，教科書や前時までのノートを活用し，どの既習事項が生かせそうか，前時との違いは何かなど解決の見通しもたせたり，見通しがもてない場合は，改めて指導したりすることで，主体的に取り組めるように指導することが大切です。

○児童が，問題を解くとき，もっと簡単に解く方法がないか考えられるよう，机間指導を通して話合いの方向を把握し，目的に応じてグループ編成や集団解決の場面を工夫することで，簡単で分かりやすい説明の仕方を考えたり，正しい方法やよりより方法を見つけ出したりできるよう指導することが大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

２８　算数の勉強は大切だと思いますか（93.8%）
２９　算数の授業の内容はよく分かりますか（83.3%）
３３　算数の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか（91.6%）
３５　算数の授業で公式やきまりを習うとき，そのわけを理解するようにしていますか（82.1%）
３６　算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか（88.0%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

２８　算数の勉強は大切だと思いますか（1.7）
３１　算数の問題の解き方が分からないときは，諦めずにいろいろな方法を考えますか（1.1）
３３　算数の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか（1.3）
３５　算数の授業で公式やきまりを習うとき，そのわけを理解するようにしていますか（1.7）
３６　算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか（2.2）
３７　今回の算数の問題について，言葉や数，式を使って，わけや求め方などを書く問題がありましたが，どのように解答しましたか（4.4）

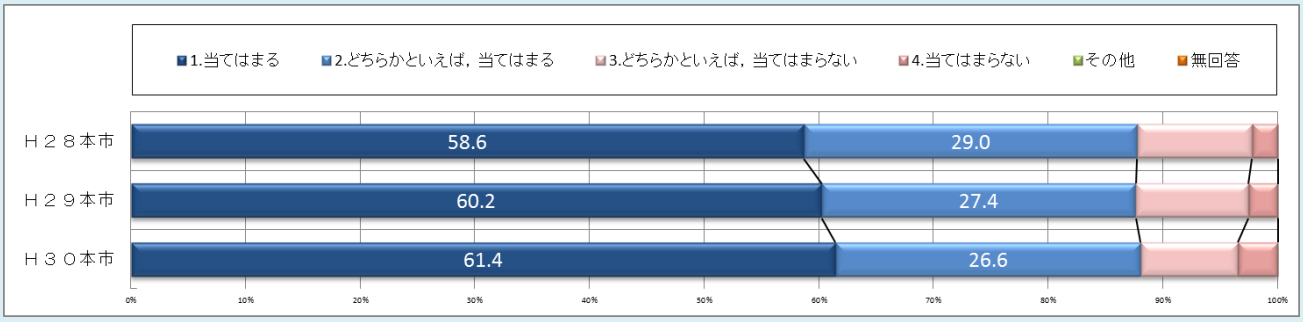
肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

２７　算数の勉強は好きですか（▲1.2）
２９　算数の授業の内容はよく分かりますか（▲0.1）
３０　算数の授業で新しい問題に出合ったとき，それを解いてみたいと思いますか（▲1.0）
３２　算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか（▲0.8）
３４　算数の授業で問題を解くとき，もっと簡単に解く方法がないか考えますか（▲2.1）

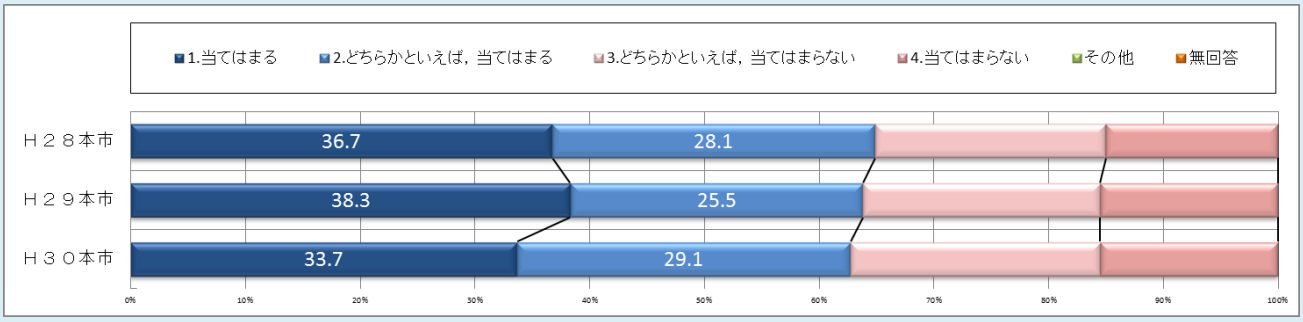
肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

３６　算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

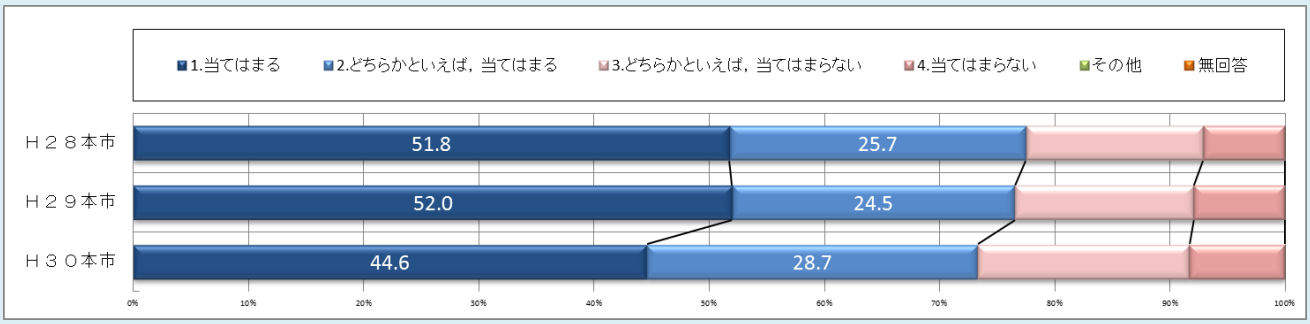


肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

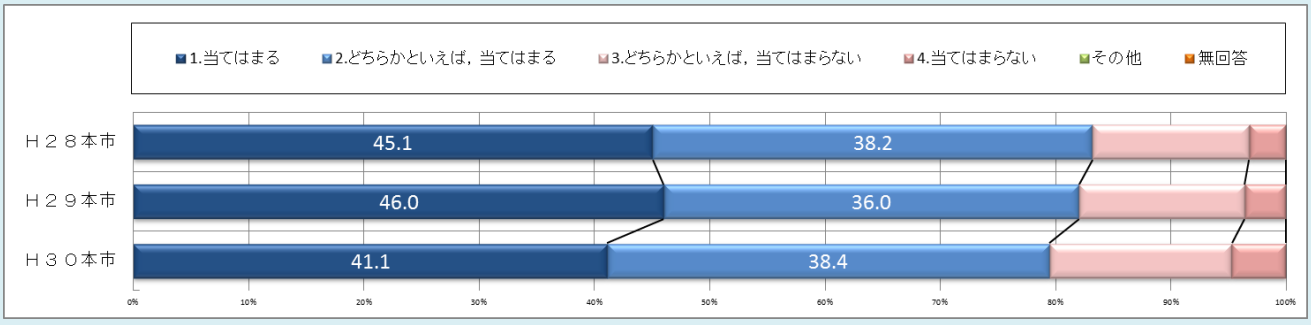
２７　算数の勉強は好きですか



３０　算数の授業で新しい問題に出合ったとき，それを解いてみたいと思いますか



３１　算数の問題の解き方が分からないときは，諦めずにいろいろな方法を考えますか



④地域や社会に関わる活動の状況等

【質問番号】１９～２６（8問）

分析結果

○８質問項目中，「２６　テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）」の１項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方，「２５　新聞を読んでいますか」などの５項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。

○８質問項目中，「２５　新聞を読んでいますか」などの２項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「２０　今住んでいる地域の行事に参加していますか」などの６項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○３年間の経年比較では，肯定的な回答が増加傾向にある項目はありませんでした。一方，「２５　新聞を読んでいますか」の１項目において，肯定的な回答が減少傾向を示しました。

○本市では，地域や社会に関わる活動の状況等についての質問に，肯定的な回答をした児童の割合が低い傾向にあり，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改 善 策

○児童が，朝の会や帰りの会等の中で，地域や社会に関わる出来事や行事に関心がもてるよう，教師が地域や社会に関わる説話をしたり，児童が関心をもった地域や社会に関わる新聞記事やニュースを紹介させたりする場面を設定するなどの工夫が大切です。

○児童が，各教科等の学習や教室の掲示物などを通して，地域や社会に関わる出来事や行事に関心がもてるよう，地域や社会に関する様々な知識や考え方について指導する機会を確保したり，教室環境を整備したりするなどの工夫が大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

２６　テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）（85.8%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

２０　今住んでいる地域の行事に参加していますか（52.5%）
２２　地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか（48.9%）
２３　地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（35.6%）
２４　地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり，一緒に遊んだりすることがありますか（36.5%）
２５　新聞を読んでいますか（22.0%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

２１　地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか（0.7）
２５　新聞を読んでいますか（2.1）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

１９　５年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり，地域の人と関わったりする機会があったと思いますか（▲2.5）

２０　今住んでいる地域の行事に参加していますか（▲10.2）

２２　地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか（▲1.0）

２３　地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（▲0.5）

２４　地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり，一緒に遊んだりすることがありますか（▲5.1）

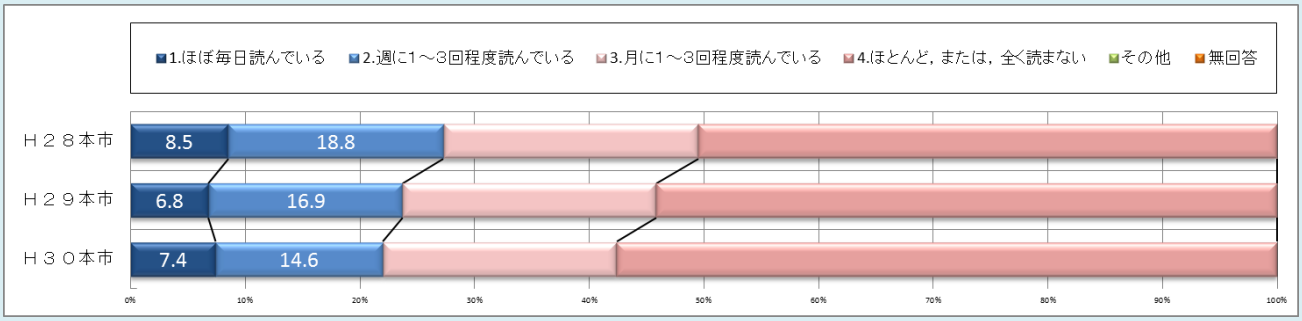
２６　テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）（▲0.4）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

２５　新聞を読んでいますか



（２）「落ち着いた学習環境づくり」について

①規範意識，自己有用感等

【質問番号】１～６（６問）

分析結果

○６質問項目中，「５　いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか」などの６項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。

○６質問項目中，「３　将来の夢や目標を持っていますか」などの６項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。肯定的な回答が全国の数値を下回る項目はありませんでした。

○３年間の経年比較では，「１　自分には，よいところがあると思いますか」の１項目において，肯定的な回答が増加傾向にあり，肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。

○「自分には，よいところがあると思う」，「将来の夢や目標を持っている」児童は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。

○本市では，規範意識，自己有用感等についての質問に，肯定的に回答した児童の割合が高い傾向にあり，望ましい状況であると分析しました。

改 善 策

○義務教育９年間を通して落ち着いた学習環境づくりを推進する上で，同一中学校区内で，保護者や地域と連携した取組を進めるために，学校全体，校種を通じた系統的・継続的な指導によって改善・充実を図っていくことが大切です。

○児童が，自分には，よいところがあることに気付き，将来の夢や目標を持てるように，カリキュラム・マネジメントの発想を生かし，教育課程の横断的な編成により，各教科や領域との関連を図ることで，児童一人一人のキャリア形成を促していく取組を進めることが大切です。

本改善策については，Ｐ６「９年間の学習環境づくり」へ
Ｐ８「将来の夢をもつためのキャリア形成」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

１　自分には，よいところがあると思いますか（84.4%）
２　先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（85.4%）
３　将来の夢や目標を持っていますか（87.1%）
４　学校のきまりを守っていますか（90.9%）
５　いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか（98.7%）
６　人の役に立つ人間になりたいと思いますか（95.6%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

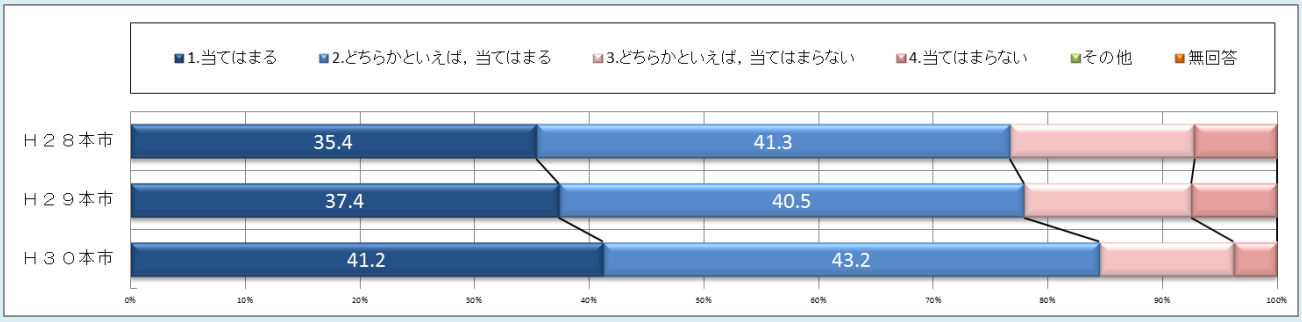
1　自分には，よいところがあると思いますか（0.4）
2　先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（0.1）
3　将来の夢や目標を持っていますか（2.0）
4　学校のきまりを守っていますか（1.4）
5　いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか（1.9）
6　人の役に立つ人間になりたいと思いますか（0.4）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

1　自分には，よいところがあると思いますか



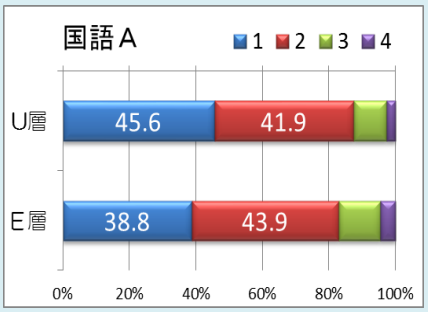
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

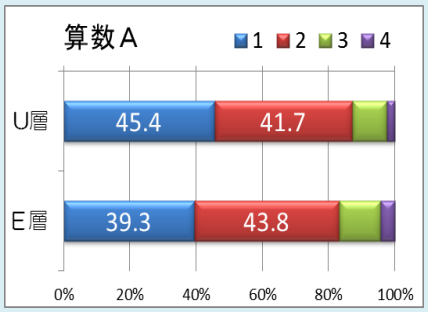
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

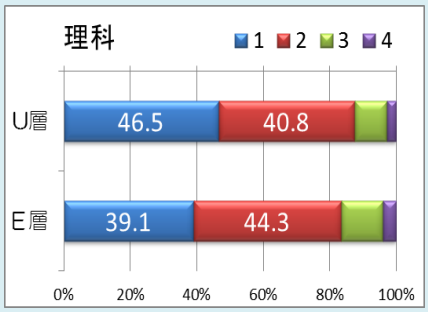
正答数が多い児童（Ｕ層）とそれ以外の児童（Ｅ層）とのクロス集計

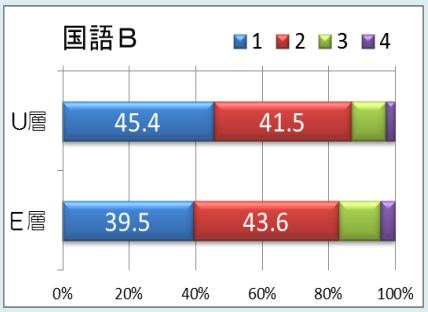
１　自分には，よいところがあると思いますか

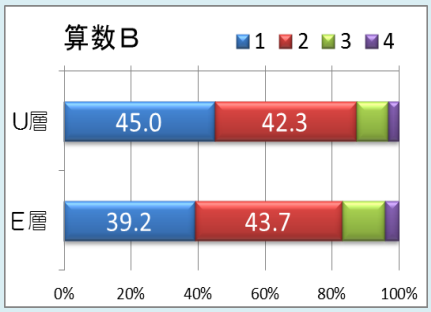
１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない





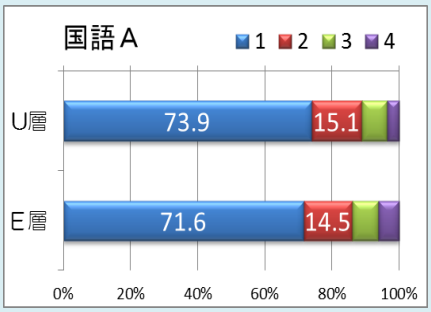


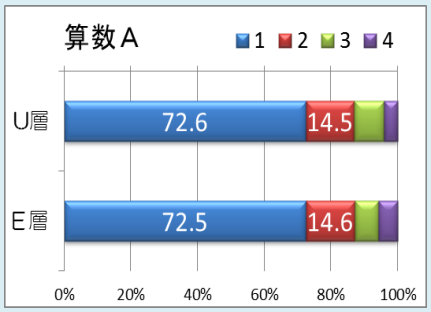


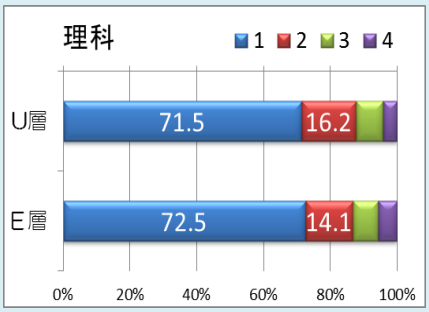


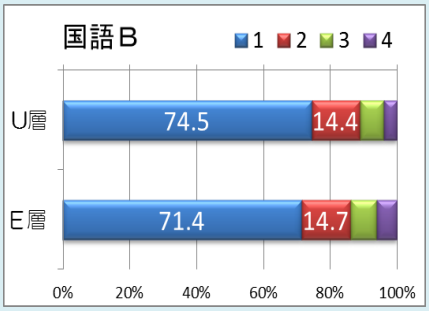
３　将来の夢や目標を持っていますか

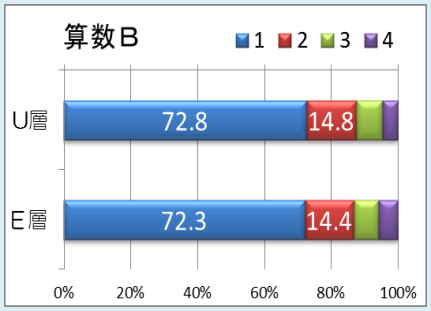
１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない











（３）「望ましい習慣づくり」について

①学習習慣等

【質問番号】１０～１５（6問）

分析結果

○６質問項目中，「１１　家で，学校の宿題をしていますか」などの２項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方，「１５　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）」の１項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。

○６質問項目中，「１２　家で，学校の授業の予習・復習をしていますか」，「１３　家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において，教科書を使いながら学習していますか」などの３項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「１５　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）」などの３項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○３年間の経年比較では，「１０　家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか」などの３項目において，肯定的な回答が増加傾向にあり，肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。

○「家で，自分で計画を立てて勉強をしている」，「家で，学校の授業の予習・復習をしている」児童は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。

○本市では，学習習慣等についての質問において，学校の授業時間以外に，勉強したり読書したりする時間が十分ではない傾向にあり，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改 善 策

○義務教育９年間を通して望ましい学習習慣づくりを推進する上で，同一中学校区内で，保護者や地域と連携した取組を進めるために，学校全体，校種を通じた系統的・継続的な指導によって改善・充実を図っていくことが大切です。

○児童が自ら，家で，自分で計画を立てて勉強できるよう，宿題の取り組み方だけではなく，学校の授業の予習・復習の仕方を指導することで，児童が計画を立てて，主体的に取り組めるように働きかけを工夫することが大切です。

本改善策については，Ｐ１０「学校紹介リーフレットを活用した習慣づくり」へ
Ｐ１２「健康・生活チェックシートを活用した習慣づくり」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

１１　家で，学校の宿題をしていますか（96.1%）

１３　家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において，教科書を使いながら学習していますか（80.0%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

１５　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）（35.2%）
※この質問項目については，１日３０分以上の割合を肯定的な回答としました。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

１０　家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか（5.1）
１２　家で，学校の授業の予習・復習をしていますか（17.2）
１３　家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において，教科書を使いながら学習していますか（10.1）

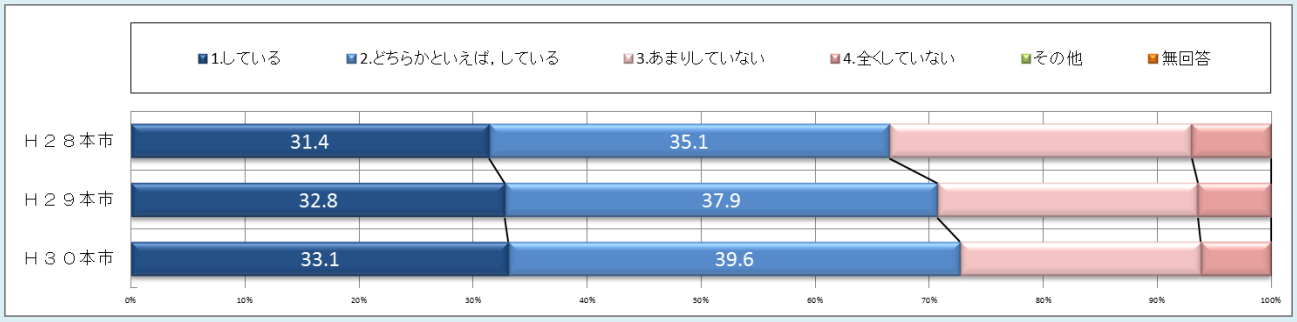
肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

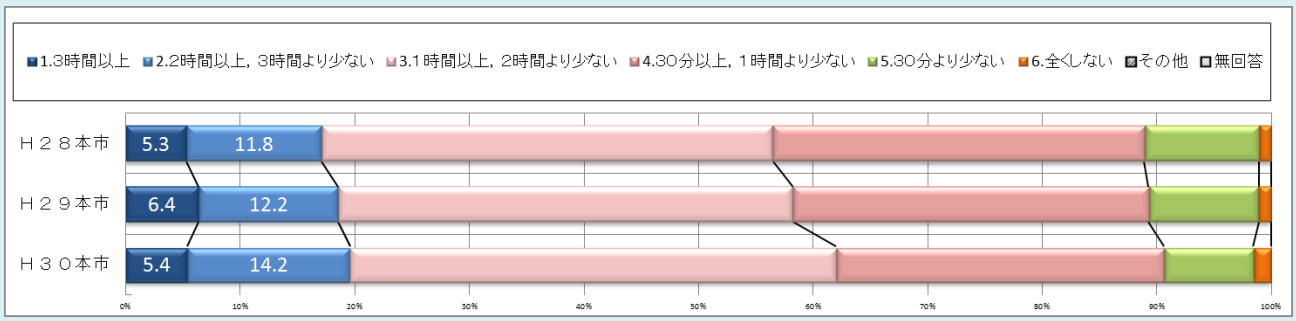
１１　家で，学校の宿題をしていますか（▲1.0）
１４　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）（▲4.1）
※この質問項目については，１日１時間以上の割合を全国の数値と比較しました。
１５　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）（▲5.9）
※この質問項目については，１日３０分以上の割合を全国の数値と比較しました。

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

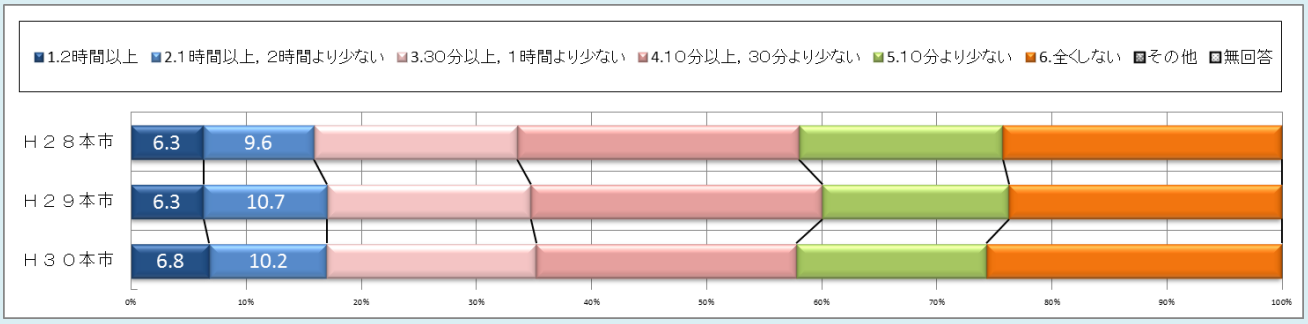
１０　家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか



１４　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



１５　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）



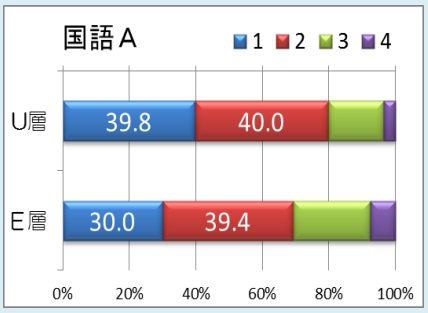
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

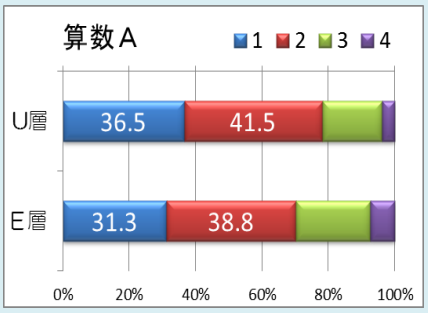
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

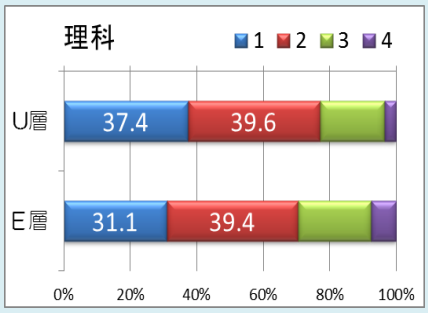
正答数が多い児童（Ｕ層）とそれ以外の児童（Ｅ層）とのクロス集計

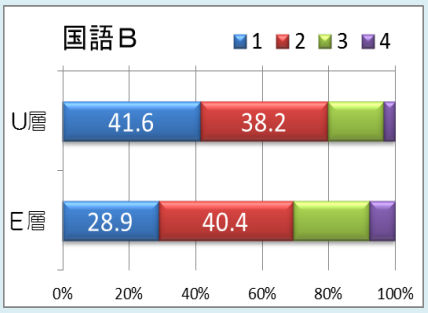
１０　家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか

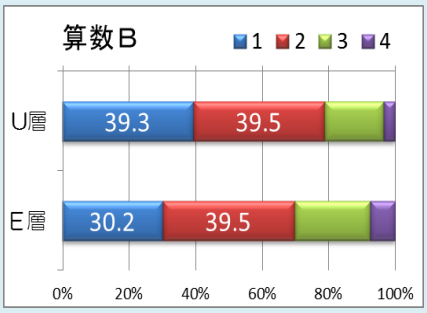
１　している	２　どちらかといえば，している
３　あまりしていない	４　全くしていない





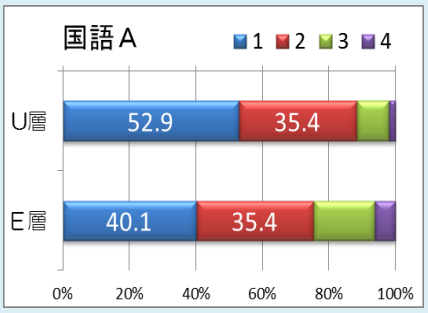


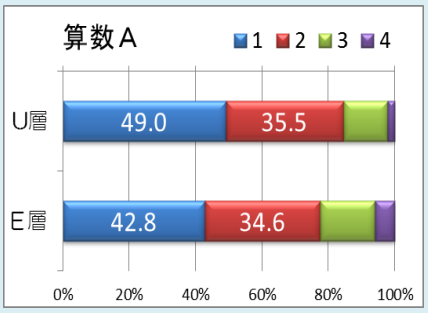


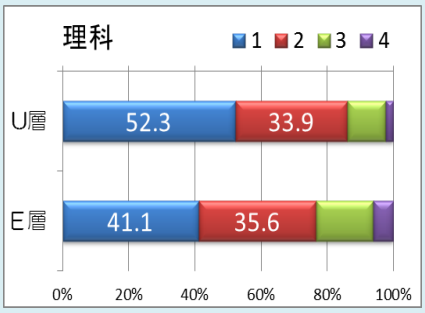


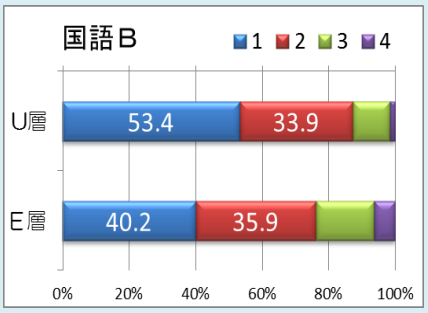
１２　家で，学校の授業の予習・復習をしていますか

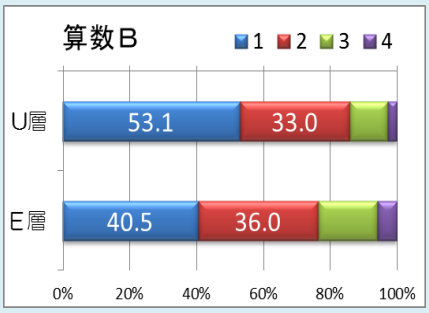
１　している	２　どちらかといえば，している
３　あまりしていない	４　全くしていない











②基本的生活習慣等

【質問番号】7～9，１6～１8（6問）

分析結果

○４質問項目中（※），「７　朝食を毎日食べていますか」などの２項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。

○４質問項目中，「８　毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか」の１項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「７　朝食を毎日食べていますか」などの３項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○３年間の経年比較では，「１８　家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか」の１項目において，肯定的な回答が増加傾向を示しました。一方，「７朝食を毎日食べていますか」の１項目において，肯定的な回答が減少傾向を示しました。

○「朝食を毎日食べている」「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする」児童は，教科に関する調査において，正答率が高い傾向にあります。

○本市では，基本的生活習慣等についての一連の質問に，肯定的に回答した児童の割合は，平成２８年度，平成２９年度とほぼ同様の傾向にあり，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

※このカテゴリーに関する質問項目は６項目ありますが，質問番号１６，１７については，回答の選択肢が何をして過ごすかとなっており，肯定的か否かや全国の数値との比較という観点から整理できない項目となっているため，それらを除き，質問項目を４項目として分析しています。

改 善 策

○義務教育９年間を通して望ましい生活習慣づくりを推進する上で，同一中学校区内で，保護者や地域と連携した取組を進めるために，学校全体，校種を通じた系統的・継続的な指導によって改善・充実を図っていくことが大切です。

○本指導の改善策添付資料「健康・生活チェックシート」を活用するなどして，「毎日，同じくらいの時刻に起きる・寝る」，「放課後や週末に何をして過ごすか」など基本的生活習慣が身に付いているかについて，児童自らがよりよい生活習慣を考えられるよう働きかけを工夫することが大切です。

本改善策については，Ｐ１０「学校紹介リーフレットを活用した習慣づくり」へ
Ｐ１２「健康・生活チェックシートを活用した習慣づくり」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

７　朝食を毎日食べていますか（91.9%）
９　毎日，同じくらいの時刻に起きていますか（88.4%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

８　毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか（1.4）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

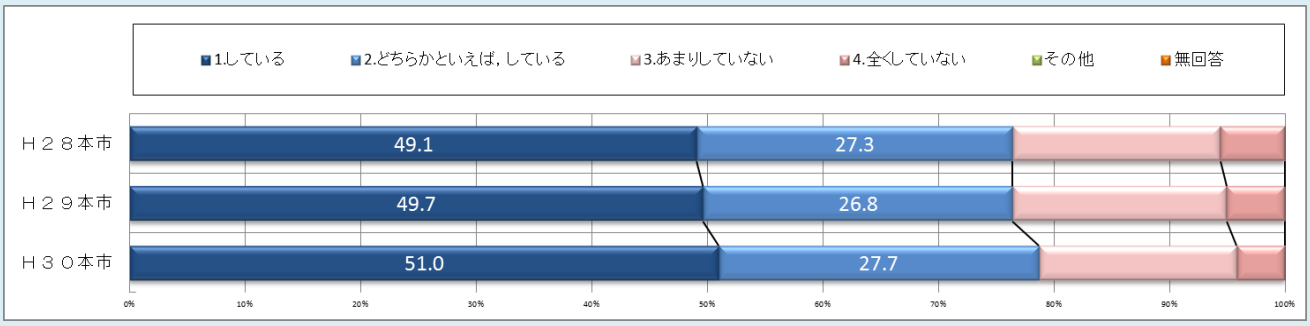
７　朝食を毎日食べていますか（▲2.6）

９　毎日，同じくらいの時刻に起きていますか（▲0.4）

１８　家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか（▲1.8）

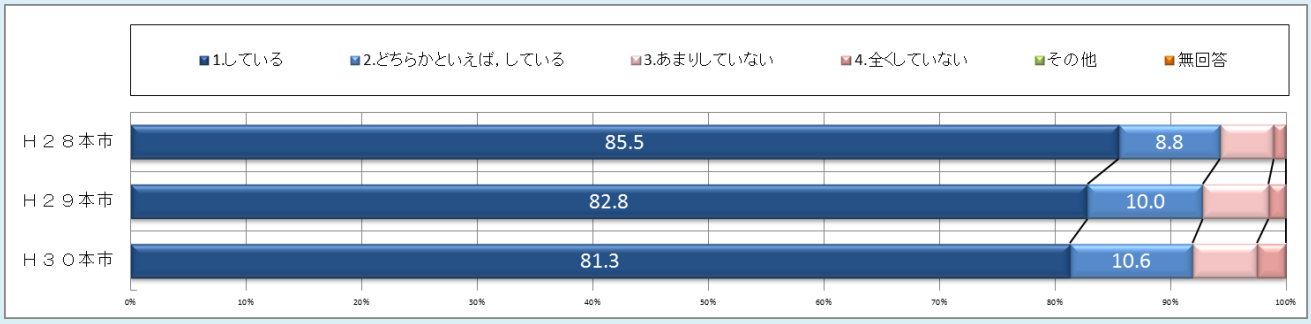
肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

１８　家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか



肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

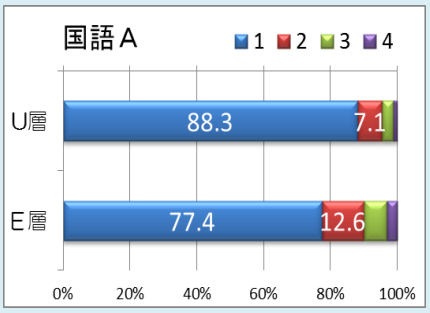
７　朝食を毎日食べていますか

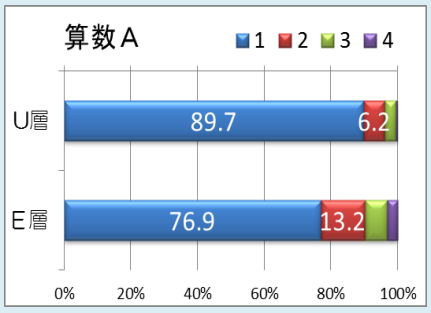


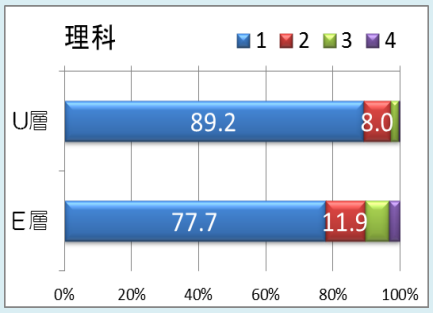
正答数が多い児童（Ｕ層）とそれ以外の児童（Ｅ層）とのクロス集計

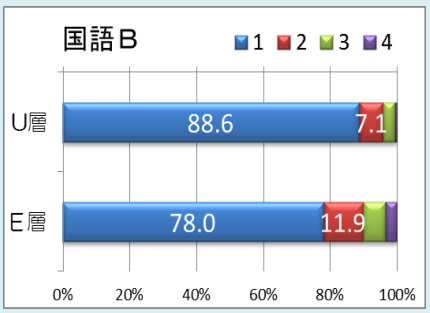
７　朝食を毎日食べていますか

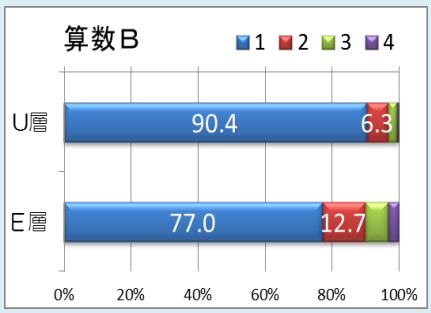
１　している	２　どちらかといえば，している
３　あまりしていない	４　全くしていない





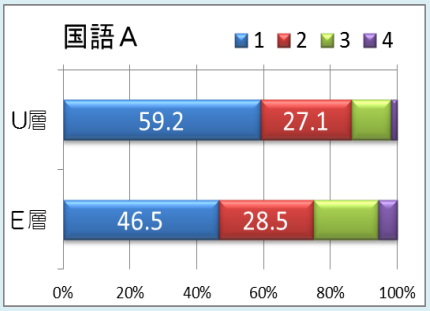


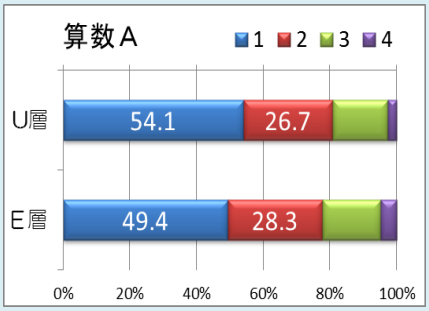


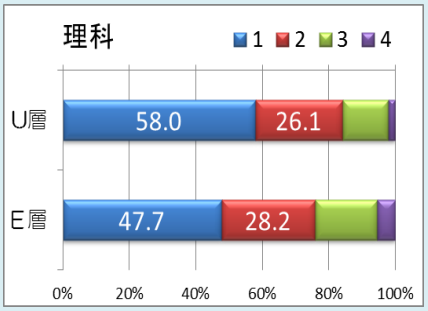


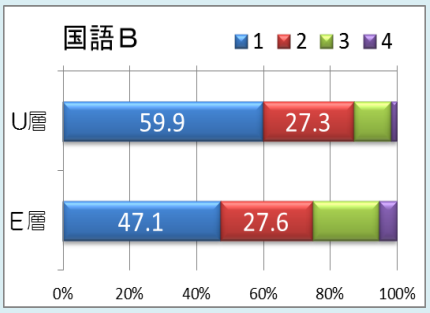
１８　家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか

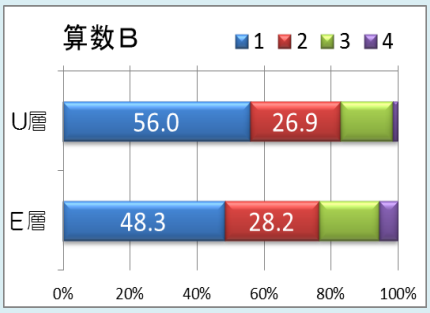
１　している	２　どちらかといえば，している
３　あまりしていない	４　全くしていない











３　中学校の部

（１）「授業改善」について

①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

分析結果

【質問番号】５２～５４（3問）

○３質問項目中，肯定的な回答が高い割合を示す項目はありませんでした。一方，「５３１，２年生のときに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」の１項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。

○３質問項目中，全ての項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○３年間の経年比較では，肯定的な回答が増加傾向及び減少傾向にある項目はありませんでした。

○「課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいる」，「自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表している」，「学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができている」生徒は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。

○本市では，主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況についての一連の質問において，肯定的に回答した生徒の割合が低い傾向にあり，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改 善 策

○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する上で，生徒の学習状況等に着目し，学習指導の改善・充実を図る観点から，学校全体で組織的・継続的な取組を進める必要があります。

○生徒が，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいくことができるよう，見通しを立てたり，自己の学習活動を振り返ったりすることで，生徒が主体的に取り組めるように指導することが大切です。

○生徒が，学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができるよう，対話の目的や論点を明確にしたり，情報を伝え合うツールを活用したりすることで，生徒の思考と表現をサポートすることが大切です。

○生徒が，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫することで，発表していた相手に伝わったということを生徒が実感できるように指導することが大切です。

本改善策については，Ｐ２
「『主体的・対話的で深い学び』の実現」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

５３　１，２年生のときに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか（50.5%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

５２　１，２年生のときに受けた授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいたと思いますか（▲1.2）

５３　１，２年生のときに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか（▲3.3）

５４　生徒の間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか（▲0.3）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

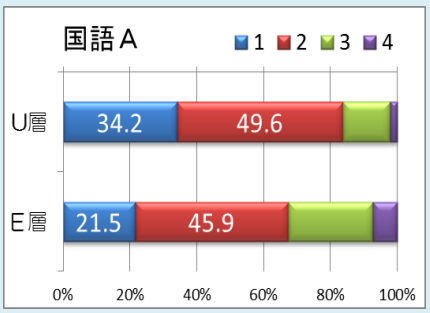
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

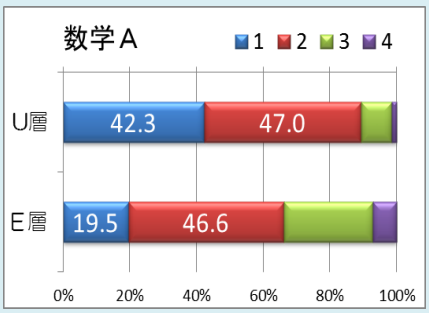
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

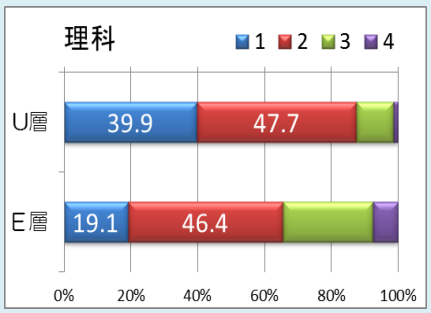
正答数が多い生徒（Ｕ層）とそれ以外の生徒（Ｅ層）とのクロス集計

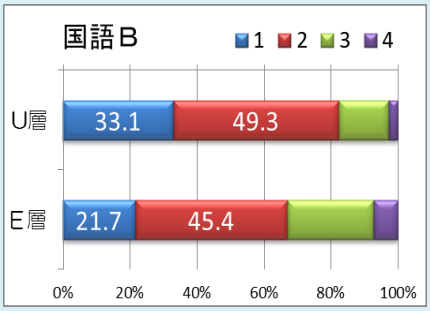
５２　１，２年生のときに受けた授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいたと思いますか

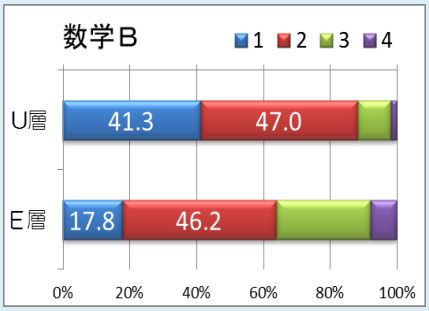
１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない





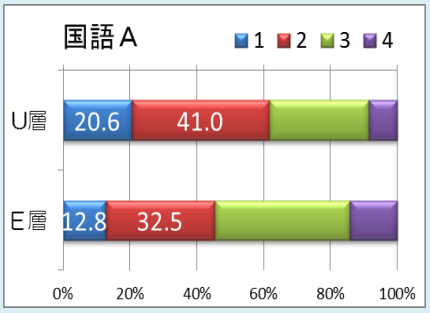


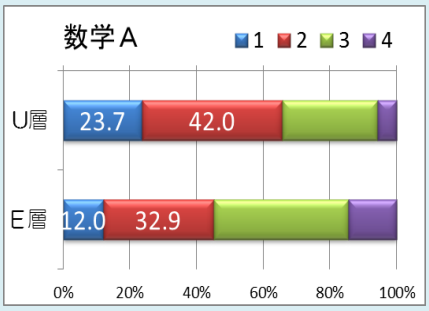


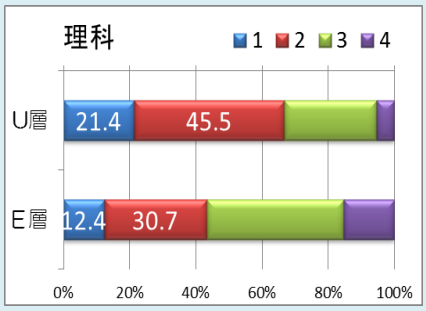


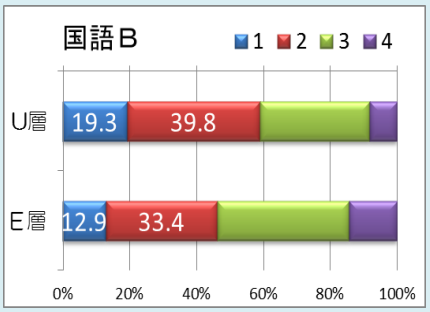
５３　１，２年生のときに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか

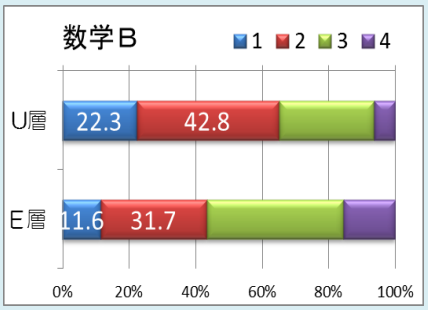
１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない





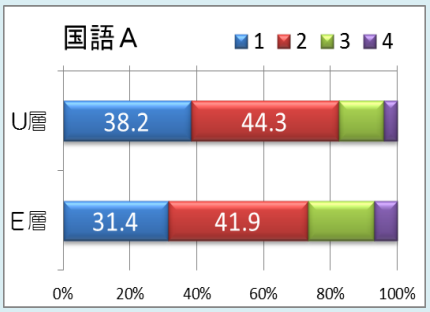


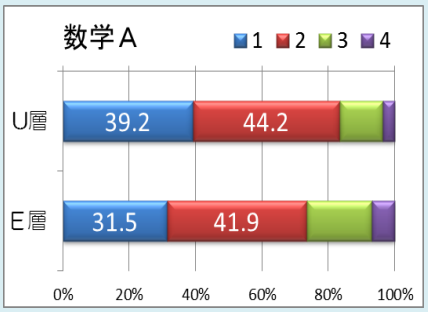


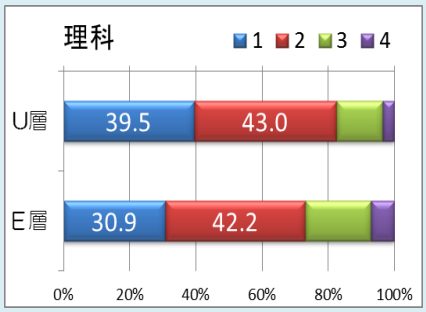


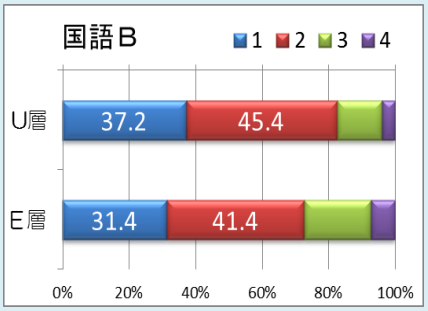
５４　生徒の間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか

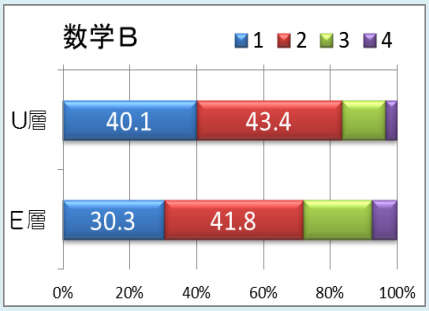
１　そう思う	２　どちらかといえば，そう思う
３　どちらかといえば，そう思わない	４　そう思わない











②学習に対する興味・関心や授業の理解度等（理科）

【質問番号】３８～５１（１４問）

分析結果

○１４質問項目中，「４６　理科の授業では，理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか」などの３項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方，「４５　理科の授業で，自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか」などの４項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。

○１４質問項目中，「４８　理科の授業では，自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか」や「４９　理科の授業で，観察や実験の結果をもとに考察していますか」などの１０項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「４５　理科の授業で，自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか」などの４項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○本市では，理科に関する興味・関心，授業の理解度等についての質問に，肯定的に回答した生徒の割合が高い傾向にあり，望ましい状況であると分析しました。

改 善 策

○生徒が，学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えられるよう，学習内容の系統性に留意し，分野や領域を横断して，繰り返し知識・技能を活用させることで，基本的な概念の形成を図り，自然の事実・現象を科学的に探究する力を育成することが大切です。

○生徒が，自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりできるよう，「課題に正対しているか」，「結果の予想と観察・実験の結果とを比較して妥当であるか」などを視点として明示することで，一人一人が自分の考えをもち，分析・解釈の妥当性について話し合うように指導することが大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

４６　理科の授業では，理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか（95.2%）
４７　観察や実験を行うことは好きですか（85.2%）
４９　理科の授業で，観察や実験の結果をもとに考察していますか（80.6%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

４２　理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか（45.0%）
４３　理科の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか（56.4%）
４４　将来，理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか（23.4%）
４５　理科の授業で，自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか（39.7%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

３８　理科の勉強は好きですか（6.3）
３９　理科の勉強は大切だと思いますか（1.5）

４０　理科の授業の内容はよく分かりますか（3.3）
４３　理科の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか（0.7）
４４　将来，理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか（1.2）
４６　理科の授業では，理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか（8.1）
４７　観察や実験を行うことは好きですか（3.1）
４８　理科の授業では，自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか（6.1）
４９　理科の授業で，観察や実験の結果をもとに考察していますか（8.3）
５０　理科の授業で，観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか（3.8）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

４１　自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか（▲1.4）
４２　理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか（▲0.4）
４５　理科の授業で，自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか（▲1.7）
５１　今回の理科の問題について，解答を文章などで書く問題がありましたが，最後まで解答を書こうと努力しましたか（▲0.2）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

③学習に対する興味・関心や授業の理解度等（数学）

【質問番号】２７～３７（１１問）

分析結果

○１１質問項目中，「３０　数学ができるようになりたいと思いますか」，「３６　数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」などの３項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方，「３２　数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」などの３項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。

○１１質問項目中，「３６　数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」などの２項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「３４　数学の授業で問題を解くとき，もっと簡単に解く方法がないか考えますか」や「３７　今回の数学の問題について，解答を言葉や数，式を使って説明する問題がありましたが，それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか」などの９項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○３年間の経年比較では，「２９　数学の授業の内容はよく分かりますか」の１項目において，肯定的な回答が増加傾向を示しました。一方，「２７　数学の勉強は好きですか」の１項目において肯定的な回答が減少傾向を示しました。

○本市では，数学に関する興味・関心，授業の理解度等についての一連の質問に，肯定的に回答した生徒の割合は，平成２８年度，平成２９年度とほぼ同様の傾向にあり，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改 善 策

○生徒が，問題を解くとき，もっと簡単に解く方法がないか考えられるよう，机間指導を通して話合いの方向を把握し，目的に応じてグループ編成や集団解決の場面を工夫することで，簡単で分かりやすい説明の仕方を考えたり，正しい方法やよりよい方法を見つけ出したりできるよう指導することが大切です。

○生徒が，問題を解くとき，解答を言葉や数，式を使って説明したり，それらの問題を最後まで解答を書こうと努力したりできるよう，言葉や数，式を使って筋道を立てて考え，根拠となる事柄を漏れなく示して説明させるとともに，説明を見直し修正するための言語活動を位置付けることが大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

２８　数学の勉強は大切だと思いますか（82.7%）
３０　数学ができるようになりたいと思いますか（92.8%）
３６　数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか（83.5%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

２７　数学の勉強は好きですか（48.7%）
３２　数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか（35.0%）
３７　今回の数学の問題について，解答を言葉や数，式を使って説明する問題がありましたが，それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか（49.9%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

３０　数学ができるようになりたいと思いますか（0.3）
３６　数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか（2.9）

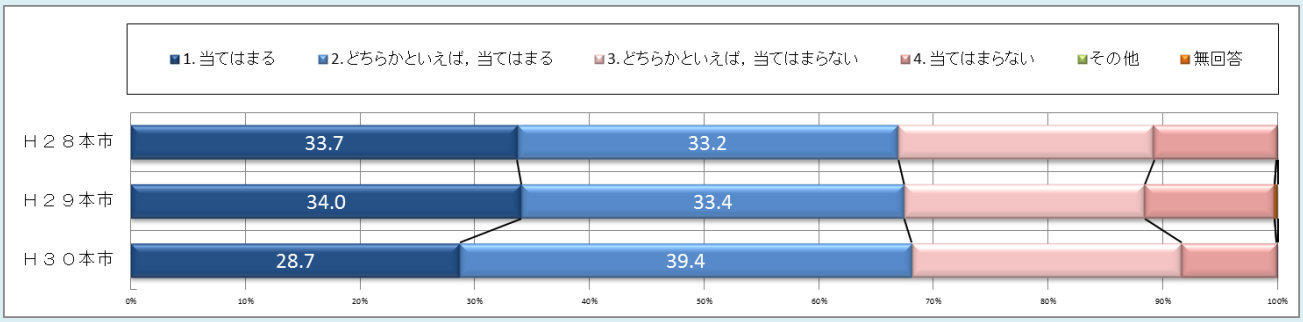
肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

２７　数学の勉強は好きですか（▲5.2）
２８　数学の勉強は大切だと思いますか（▲0.9）
２９　数学の授業の内容はよく分かりますか（▲2.9）
３１　数学の問題の解き方が分からないときは，諦めずにいろいろな方法を考えますか（▲4.8）
３２　数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか（▲3.7）
３３　数学の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか（▲0.1）
３４　数学の授業で問題を解くとき，もっと簡単に解く方法がないか考えますか（▲5.1）
３５　数学の授業で公式やきまりを習うとき，その根拠を理解するようにしています（▲1.1）
３７　今回の数学の問題について，解答を言葉や数，式を使って説明する問題がありましたが，それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか（▲5.6）

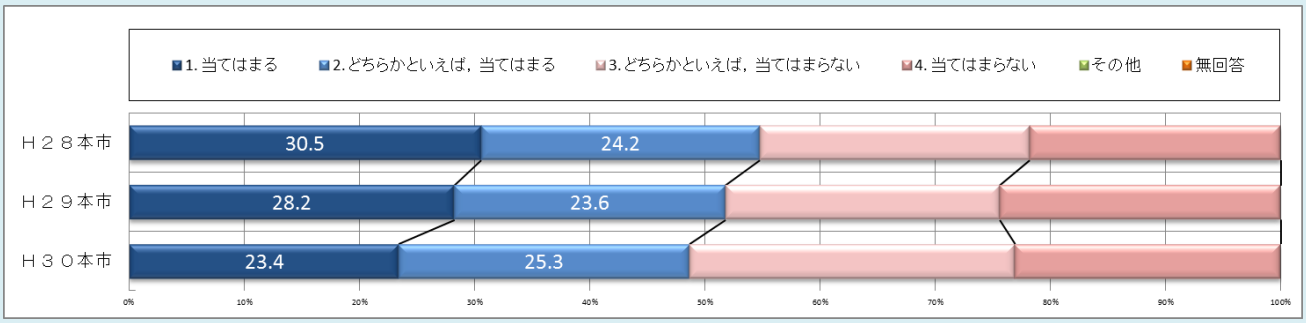
肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

２９　数学の授業の内容はよく分かりますか



肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

２７　数学の勉強は好きですか



④地域や社会に関わる活動の状況等

【質問番号】１９～２６（８問）

分析結果

○８質問項目中，「２６　テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）」の１項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方，「２５　新聞を読んでいますか」などの６項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。

○８質問項目中，「２５　新聞を読んでいますか」の１項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「２０　今住んでいる地域の行事に参加していますか」などの７項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○３年間の経年比較では，肯定的な回答が増加傾向にある項目はありませんでした。一方，「２５　新聞を読んでいますか」の１項目において，肯定的な回答が減少傾向を示しました。

○本市では，地域や社会に関わる活動の状況等についての質問に，肯定的な回答をした生徒の割合が低い傾向にあり，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改 善 策

○生徒が，朝の会や帰りの会等の中で，地域や社会に関わる出来事や行事に関心がもてるよう，教師が地域や社会に関わる説話をしたり，生徒が関心をもった地域や社会に関わる新聞記事やニュースを紹介したりする場面を設定するなどの工夫が大切です。

○生徒が，各教科等の学習や教室の掲示物などを通して，地域や社会に関わる出来事や行事に関心がもてるよう，地域や社会に関する様々な知識や考え方について指導する機会を確保したり，教室環境を整備したりするなどの工夫が大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

２６　テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）（86.4%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

２０　今住んでいる地域の行事に参加していますか（34.8%）
２１　地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか（58.2%）
２２　地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか（38.4%）
２３　地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（48.7%）
２４　地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり，一緒に遊んだりすることがありますか（22.3%）
２５　新聞を読んでいますか（15.1%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

２５　新聞を読んでいますか（1.2）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

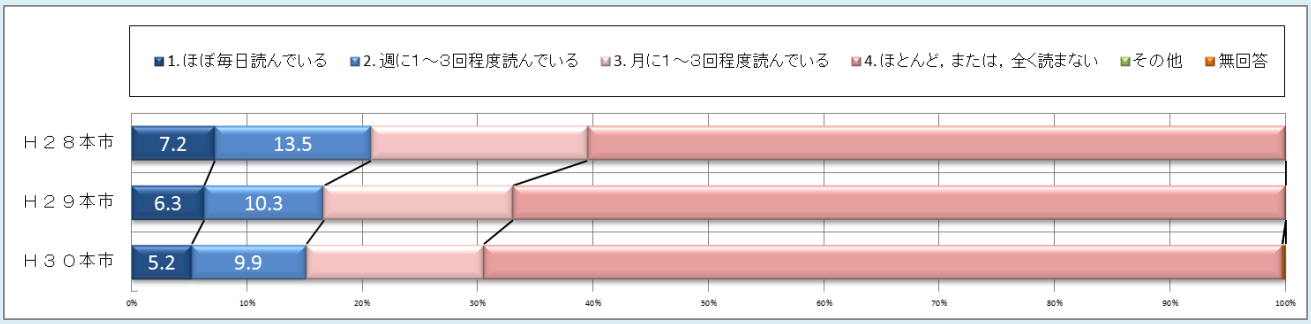
１９　１，２年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり，地域の人と関わったりする機会があったと思いますか（▲0.2）
２０　今住んでいる地域の行事に参加していますか（▲10.8）
２１　地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか（▲1.1）
２２　地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか（▲0.3）
２３　地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（▲3.1）
２４　地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり，一緒に遊んだりすることがありますか（▲3.2）
２６　テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）（▲0.2）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

２５　新聞を読んでいますか



（２）「落ち着いた学習環境づくり」について

①規範意識，自己有用感等

【質問番号】１～６（６問）

分析結果

○６質問項目中，「５　いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか」などの４項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。

○６質問項目中，「５　いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか」などの５項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「１　自分には，よいところがあると思いますか」の１項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○３年間の経年比較では，「１　自分には，よいところがあると思いますか」と「４　学校の規則を守っていますか」の２項目において，肯定的な回答が増加傾向にあり，肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。

○「自分には，よいところがあると思う」，「将来の夢や目標を持っている」生徒は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。

○本市では，規範意識，自己有用感等についての質問に，肯定的に回答した生徒の割合が高い傾向にあり，望ましい状況であると分析しました。

改 善 策

○義務教育９年間を通して落ち着いた学習環境づくりを推進する上で，同一中学校区内で，保護者や地域と連携した取組を進めるために，学校全体，校種を通じた系統的・継続的な指導によって改善・充実を図っていくことが大切です。

○生徒が，自分には，よいところがあることに気付き，将来の夢や目標を持てるように，カリキュラム・マネジメントの発想を生かし，教育課程の横断的な編成により，各教科や領域との関連を図ることで，生徒一人一人のキャリア形成を促していく取組を進めることが大切です。

本改善策については，　Ｐ６「９年間の学習環境づくり」へ
Ｐ８「将来の夢をもつためのキャリア形成」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

２　先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（82.4%）
４　学校の規則を守っていますか（95.1%）
５　いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか（96.9%）
６　人の役に立つ人間になりたいと思いますか（95.7%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

２　先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（0.2）
３　将来の夢や目標を持っていますか（0.1）
４　学校の規則を守っていますか（0.0）
５　いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか（1.4）
６　人の役に立つ人間になりたいと思いますか（0.8）

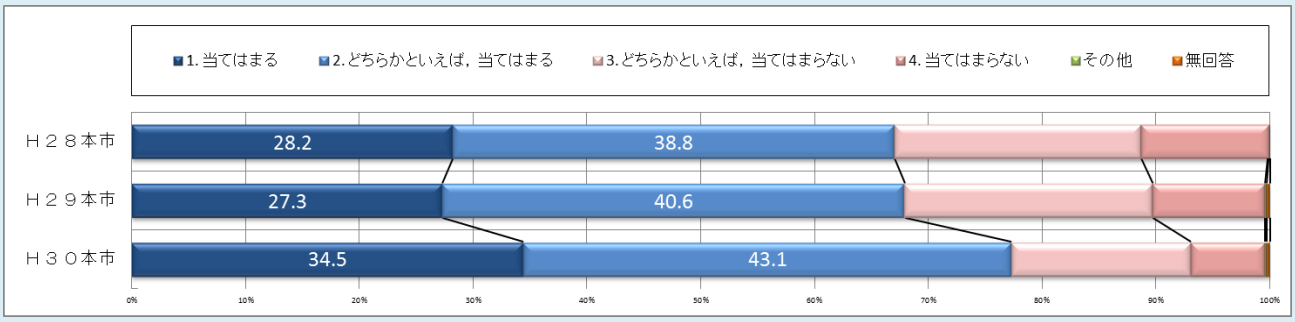
肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

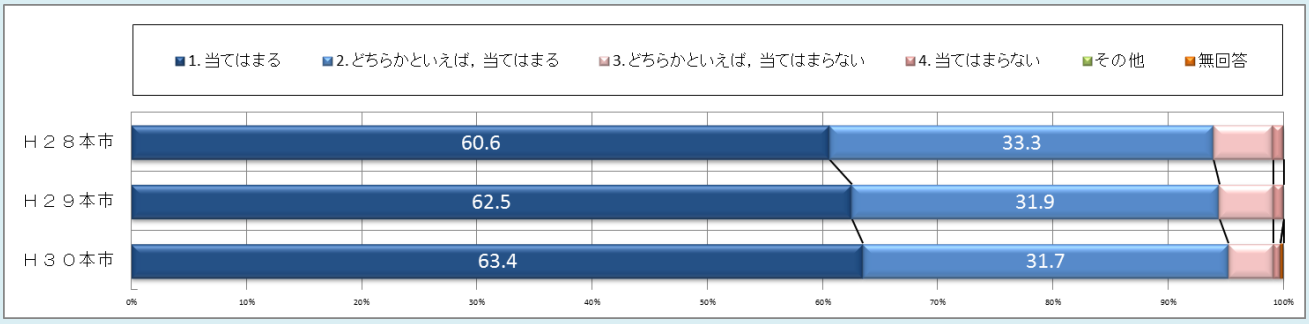
１　自分には，よいところがあると思いますか（▲1.2）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

１　自分には，よいところがあると思いますか



４　学校の規則を守っていますか



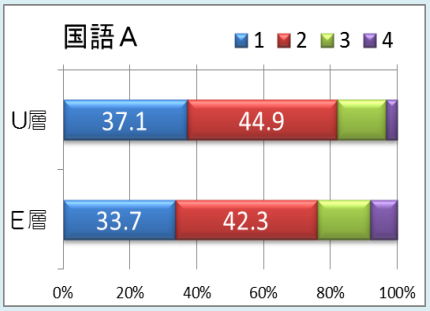
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

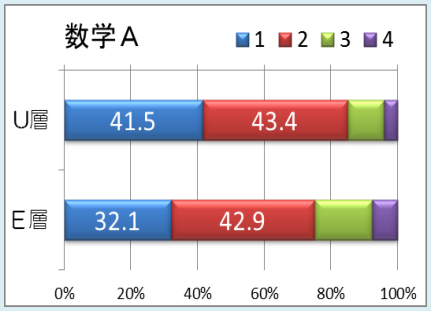
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

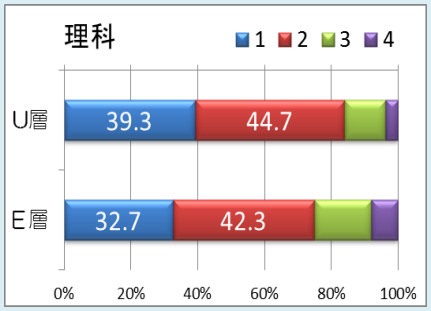
正答数が多い生徒（Ｕ層）とそれ以外の生徒（Ｅ層）とのクロス集計

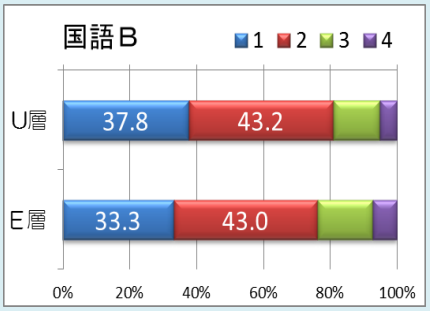
１　自分には，よいところがあると思いますか

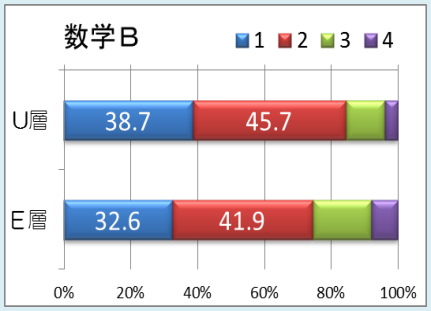
１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない





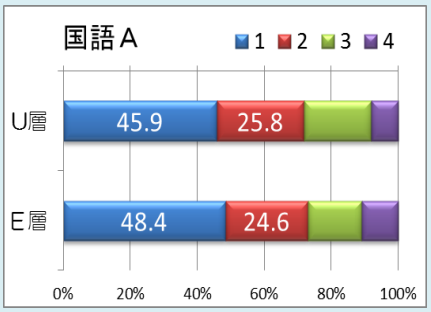


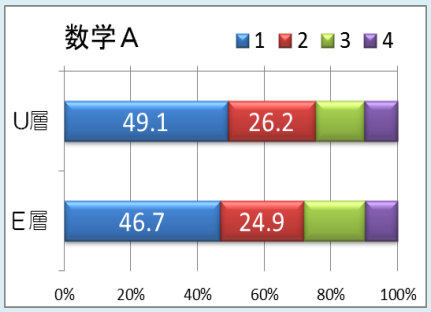


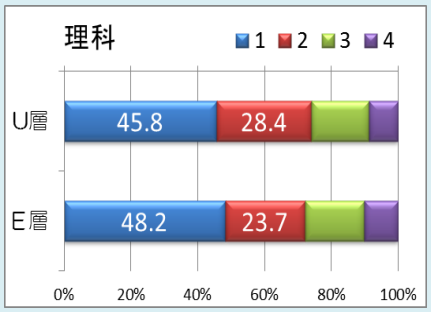


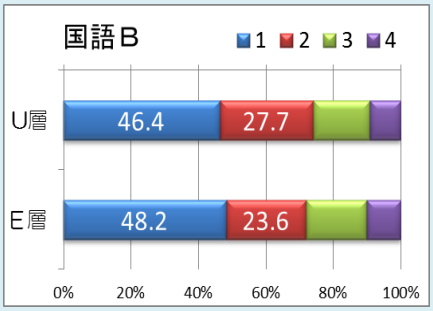
３　将来の夢や目標を持っていますか

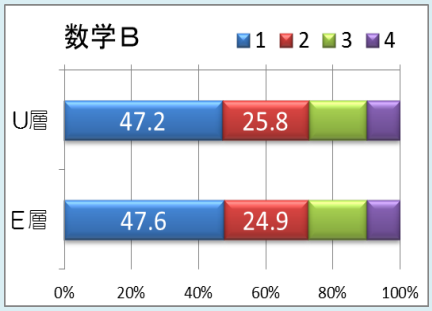
１　当てはまる	２　どちらかといえば，当てはまる
３　どちらかといえば，当てはまらない	４　当てはまらない











（３）「望ましい習慣づくり」について

①学習習慣等

【質問番号】１０～１５（6問）

分析結果

○６質問項目中，「１１　家で，学校の宿題をしていますか」の１項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方，「１０　家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか」などの３項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。

○６質問項目中，「１２　家で，学校の授業の予習・復習をしていますか」，「１５　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）」などの３項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「１４　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」などの３項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○３年間の経年比較では，「１１　家で，学校の宿題をしていますか」などの３項目において，肯定的な回答が増加傾向にあり，肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。

○「家で，自分で計画を立てて勉強をしている」，「家で，学校の授業の予習・復習をしている」生徒は，教科に関する調査において，正答数が高い傾向にあります。

○本市では，学習習慣等についての質問において，肯定的に回答した生徒の割合が低い傾向が見られ，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改 善 策

○義務教育９年間を通して望ましい学習習慣づくりを推進する上で，同一中学校区内で，保護者や地域と連携した取組を進めるために，学校全体，校種を通じた系統的・継続的な指導によって改善・充実を図っていくことが大切です。

○生徒が自ら，家で，自分で計画を立てて勉強できるよう，宿題の取り組み方だけではなく，学校の授業の予習・復習の仕方や部活動の参加の仕方等を指導することで，生徒が計画を立てて，主体的に取り組めるように働きかけを工夫することが大切です。

本改善策については，Ｐ１０「学校紹介リーフレットを活用した習慣づくり」へ
Ｐ１２「健康・生活チェックシートを活用した習慣づくり」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

１１　家で，学校の宿題をしていますか（91.3%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

１０　家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか（52.2%）
１２　家で，学校の授業の予習・復習をしていますか（59.3%）
１５　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）（34.8%）
※この質問項目については，１日３０分以上の割合を肯定的な回答としました。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

１０　家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか（0.1）

１２　家で，学校の授業の予習・復習をしていますか（4.1）
１５　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）（3.9）
※この質問項目については，１日３０分以上の割合を全国の数値と比較しました。

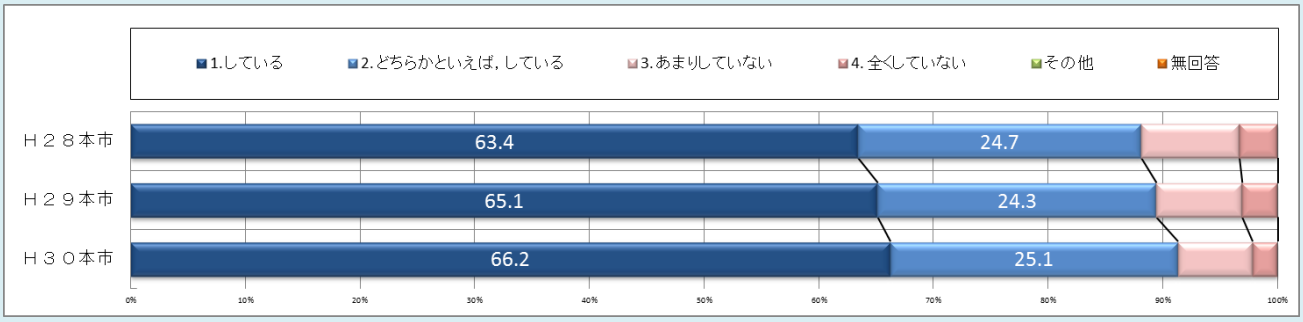
肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

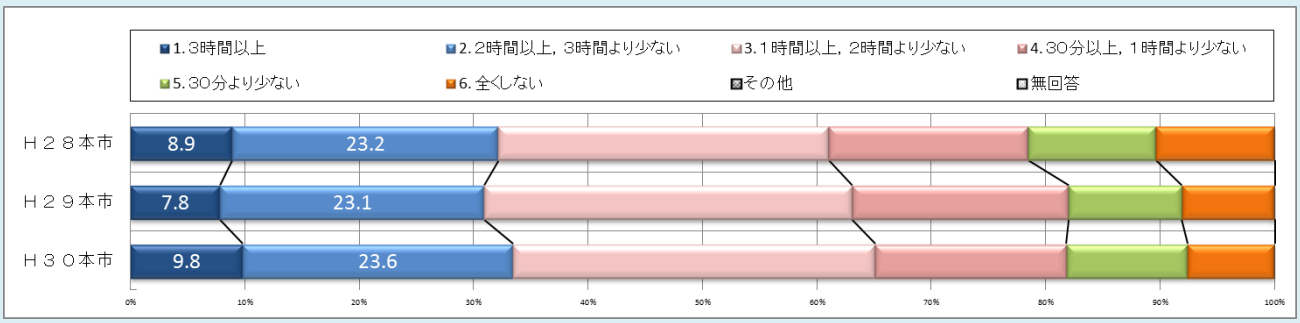
１１　家で，学校の宿題をしていますか（▲0.3）
１３　家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において，教科書を使いながら学習していますか（▲1.3）
１４　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）（▲5.5）
※この質問項目については，１日１時間以上の割合を全国の数値と比較しました。

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

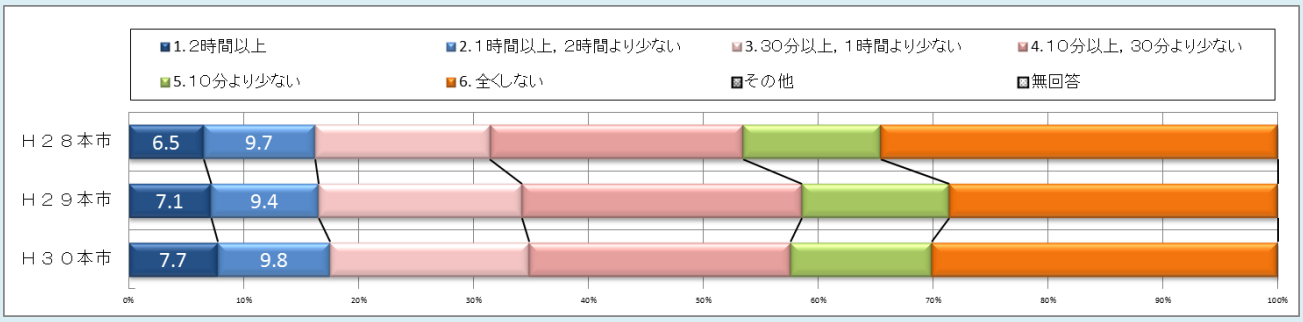
１１　家で，学校の宿題をしていますか



１４　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



１５　学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）



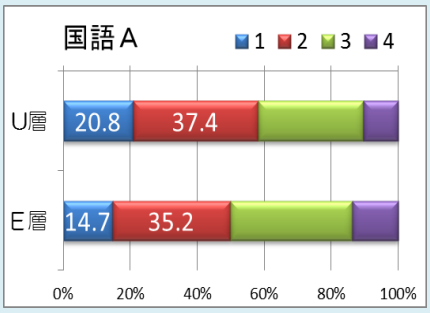
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

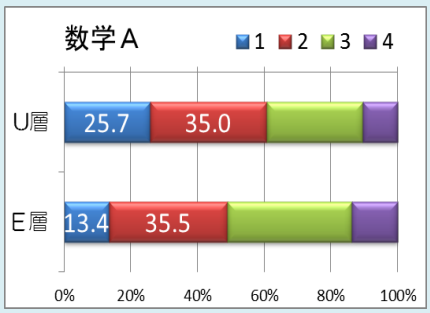
※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

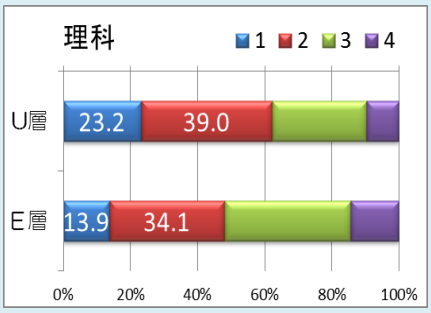
正答数が多い生徒（Ｕ層）とそれ以外の生徒（Ｅ層）とのクロス集計

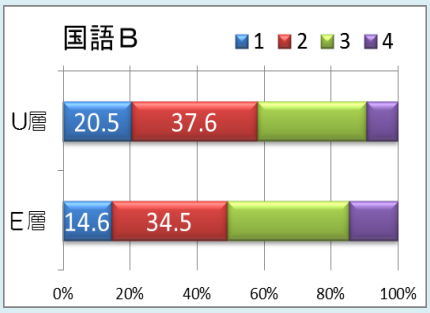
１０　家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか

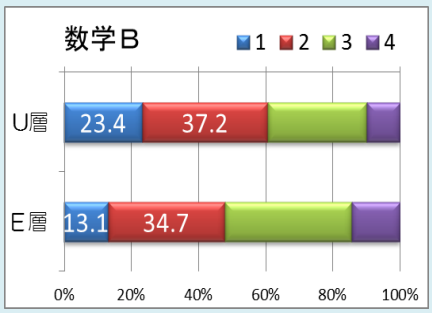
１　している	２　どちらかといえば，している
３　あまりしていない	４　全くしていない





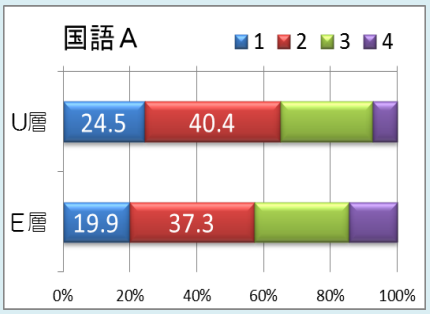


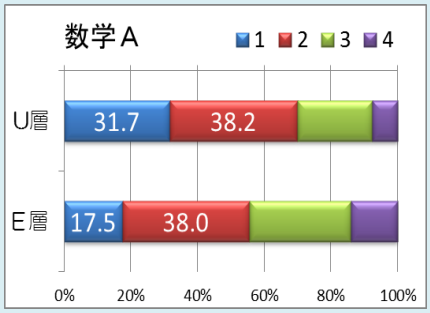


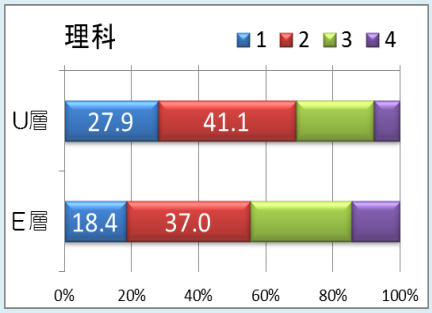


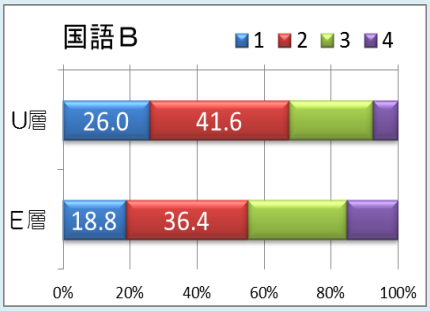
１２　家で，学校の授業の予習・復習をしていますか

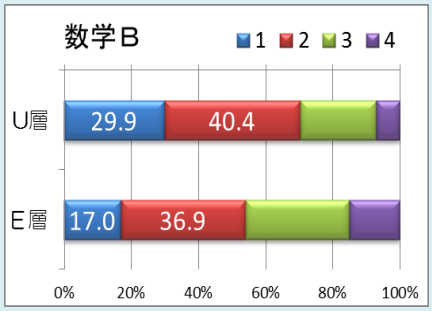
１　している	２　どちらかといえば，している
３　あまりしていない	４　全くしていない











②基本的生活習慣等

【質問番号】7～9，１6～１8（6問）

分析結果

○４質問項目中（※），「９　毎日，同じくらいの時刻に起きていますか」などの２項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。

○４質問項目中，「９　毎日，同じくらいの時刻に起きていますか」などの２項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方，「８　毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか」などの２項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。

○３年間の経年比較では，「１８　家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか」の１項目において，肯定的な回答が増加傾向を示しました。一方，「７朝食を毎日食べていますか」の１項目において，肯定的な回答が減少傾向を示しました。

○「朝食を毎日食べている」「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする」生徒は，教科に関する調査において，正答率が高い傾向にあります。

○本市では，基本的生活習慣等についての質問に，肯定的に回答した生徒の割合は，平成２８年度，平成２９年度とほぼ同様の傾向にあり，指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

※このカテゴリーに関する質問項目は６項目ありますが，質問番号１６，１７については，回答の選択肢が何をして過ごすかとなっており，肯定的か否かや全国の数値との比較という観点から整理できない項目となっているため，それらを除き，質問項目を４項目として分析しています。

改 善 策

○義務教育９年間を通して望ましい生活習慣づくりを推進する上で，同一中学校区内で，保護者や地域と連携した取組を進めるために，学校全体，校種を通じた系統的・継続的な指導によって改善・充実を図っていくことが大切です。

○本指導の改善策添付資料「健康・生活チェックシート」を活用するなどして，「毎日，同じくらいの時刻に起きる・寝る」，「放課後や週末に何をして過ごすか」など基本的生活習慣が身に付いているかについて，生徒自らがよりよい生活習慣を考えられるよう働きかけを工夫することが大切です。

本改善策については，Ｐ１０「学校紹介リーフレットを活用した習慣づくり」へ
Ｐ１２「健康・生活チェックシートを活用した習慣づくり」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

７　朝食を毎日食べていますか（90.8%）
９　毎日，同じくらいの時刻に起きていますか（91.5%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※　この分類の中では，該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

９　毎日，同じくらいの時刻に起きていますか（1.2）

１８　家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか（0.5）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

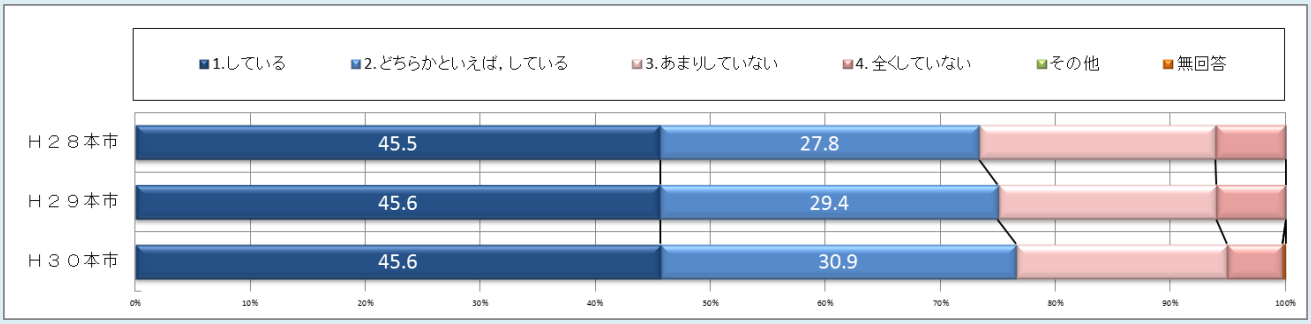
※（　）内の数値は，全国との差を表しています。

７　朝食を毎日食べていますか（▲1.1）

８　毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか（▲1.3）

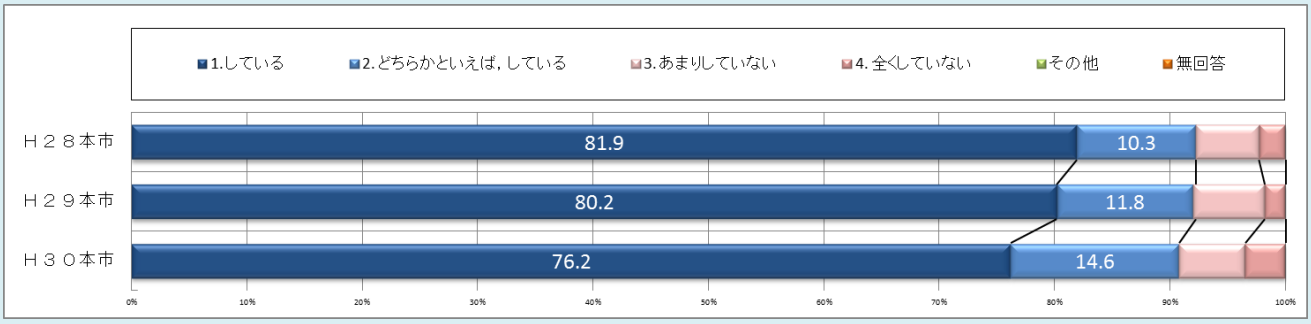
肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

１８　家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか



肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

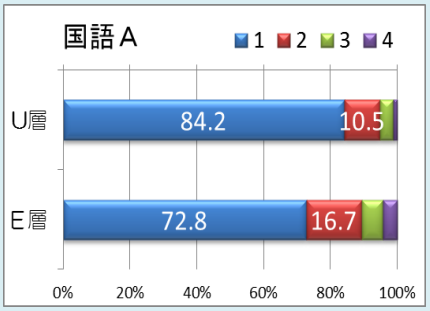
７　朝食を毎日食べていますか

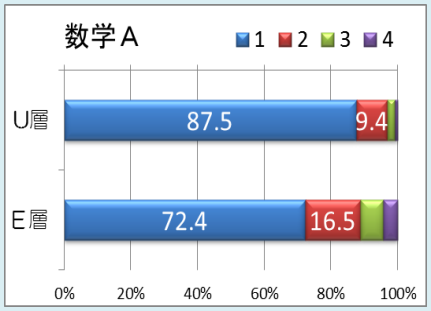


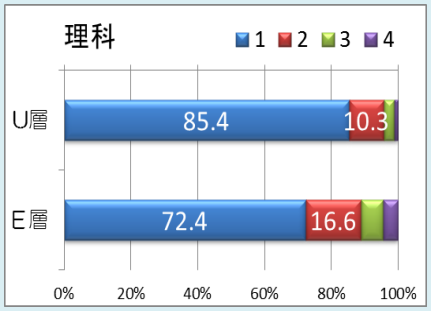
正答数が多い生徒（Ｕ層）とそれ以外の生徒（Ｅ層）とのクロス集計

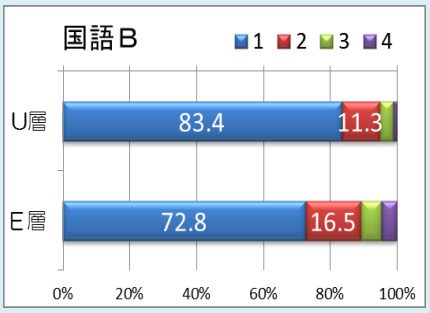
７　朝食を毎日食べていますか

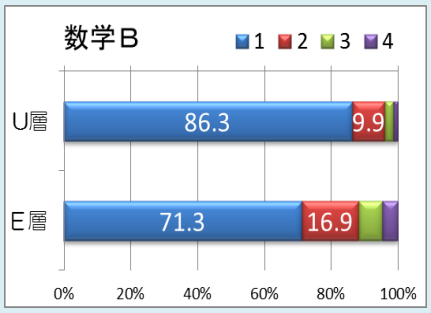
１　している	２　どちらかといえば，している
３　あまりしていない	４　全くしていない

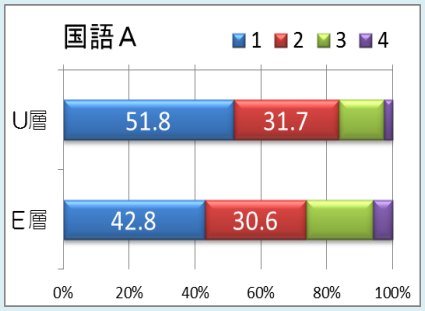
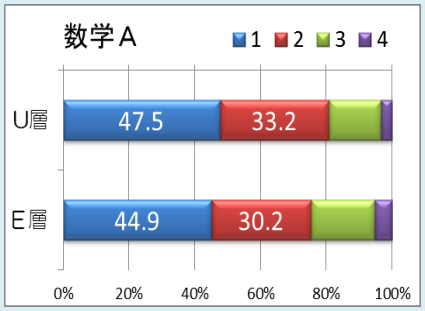
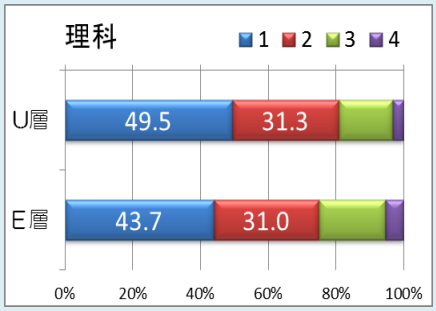
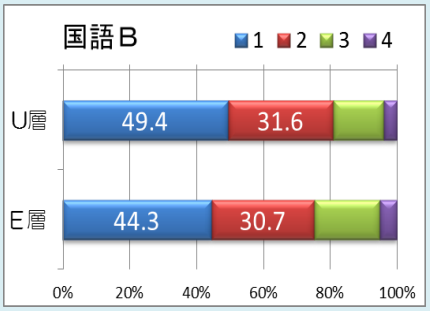
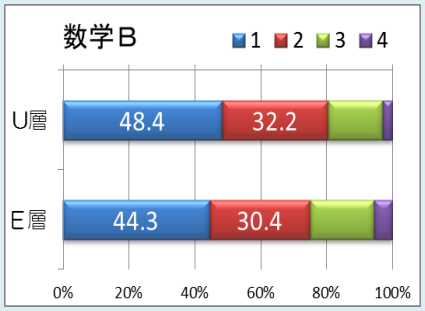










１８　家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか

１　している	２　どちらかといえば，している
３　あまりしていない	４　全くしていない